京城日報

廿三日夕刊

定價 紙代 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 前金三ヶ月分金壹圓六拾錢、六ヶ月分 郵送料一ヶ月金十五錢郵送に限り ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字十字詰同上 ▲四號活字十二字詰金八拾錢 ▲六號活字廿一字詰金八拾錢

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話 編輯 二二四番・一三六・三〇〇番 營業 一六五番 振替貯金口座京城 二六〇番

支那の形勢

▲張勳將軍通電大要

十八日張勳將軍より獨立各省軍及び省長並に各鎮守使、師團長に宛て獨立を取消すと同時に撤兵するやう勸告せる通電の大要左の如し（北京特電）

天津到著の際衆議を採り國會解散を以て第一要件とせるに幸にも大總統の英斷に依り之を實行せられ群小懾伏せり入京以來更に各方面の意見を徴し種々協議の結果（一）責任內閣の組織（二）憲法會議の召集（三）國會制度の改良（四）議員の數を減ずること（五）政治犯・帝政犯を赦免すること（六）總統府の群小を斥くること等の各項に就き何れも大總統より漸次實行する旨の批准を得たり就ては本電接受次第獨立の名義を取消し出動の軍隊は嚴重に歸還せしめられん事を予も亦部署略定まるを俟ちて隊を率ゐ徐州に歸らんとす

▲李氏總理就任決定

張作霖等の反對尚旺ん

李經羲氏は愈々總理として就職することゝなりたるも張作霖氏其他の反對尚旺ん也（北京電報）

▲各省代表會議要求

馮副總統は各省代表會議の開會を黎總統に要求せり（北京特電）

○警告問題落著公表

過般米國が支那に對して發したる警告は痛く列國の輿論を刺激し問題非常に擴大せるに鑑み米國は更に對支警告拋棄を聲明せるが米國政府は更に公文を以て本問題の圓滿に落著せる旨發表せり（紐育電報）

○日本に特使派遣か

米國大統領ウヰルソン氏は近く日本に特派大使を派遣す可し（紐育電報）

○墨國對獨參戰決定

墨國政府は米國政府と同一歩調を執り聯合軍側に與し參戰するに決したりと（紐育電報）

○西班牙を共和國に

國王承認の意あり

西班牙國王は共國體を共和國たらしむべき要求あらば之を承認するの意ありと傳へらる（倫敦電報）

○決算案提出期

大正三年度決算案は本月中特別議會に提出さるべし（東京特電）

○首相の招待會

寺內首相は二十二日午後六時より永田町首相官邸に維新會無所屬團議員を招待し晩餐を共にしつゝ懇談する處ありたり（東京特電）

◎調査會機關問題

臨時外交調査委員會に對し犬養毅氏及び伊東巳代治子は實行機關たらしめんとし原敬氏及び平田東助子は諮問機關に止めんとし目下議論旺んなりとの說傳へらる（東京電報）

◎中村男兼任說

滿鐵總裁中村雄二郎男は現任中村覺大將の後を襲ひ關東都督に任ぜられ滿鐵總裁を兼ぬるに至らんとの說傳へらる（東京電報）

◎佐野參謀長歸鮮

鎭海要港部參謀長海軍大佐佐野常羽伯は二十三日朝釜山著午前十時半發列車にて出發せり（釜山特電）

◎三島理事通過

鮮銀理事三島太郎氏は二十三日朝釜山發連絡船對馬丸にて東上の途に就けり（釜山特電）

◎高瀨東拓理事歸鮮

東拓理事高瀨梅吉氏は廿三日朝釜山著十時半發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

◎組合議員補缺戰

廿四日擧行の學校組合會議員補缺選擧は一區より塚原義親、畠山源一郎兩氏二區より村尾、伊勢松氏五區より田邊寛治氏又は青山定次郎氏出馬すべし三人の補缺選擧に對し四名の立候補者なれば激烈なる競爭は無論之れなかるべしと雖も二十二日夜より二十三日夜迄は多少の泥戰を見るべし（大田特電）

◎菊池幽芳氏通過

大阪每日新聞副主幹菊池幽芳氏は二十二日夜釜山出港關釜連絡船新羅丸にて歸阪の途に就けり（釜山特電）

◎商船近海部長來鮮

大阪商船會社近海部長上谷續氏は廿二日夜入釜連絡船對馬丸にて來釜同夜十一時發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

◎政務總監張宴

山縣政務總監は入京中なる鳥取縣境港灣調査會滿鮮視察委員鳥取縣會議長岩崎吉太郎氏外十二名並に臺灣視察團員臺灣總督府殖產局庶務課長阿部事務官、同鐵道局庶務課長服部事務官等を二十三日午後零時朝鮮ホテルに招待午餐會を開けり、總督府側よりは宇佐美內務部長官、小原農商工部長官、持地遞信局長官、八見鐵道局理事、中村技師、荻田總務局長伊藤海事課長遠藤秘書課長等列席す

◎政務總監出發

山縣政務總監は李王殿下御歸還御迎への爲め既記の如く遠藤秘書課長、齋藤副官、陶山通譯官、宍戶屬等を隨へ二十三日午後七時五十分南大門驛發汽車にて下關に向ふ

◎併鐵問題打合

併鐵問題に關し國澤副總裁と同行入京中の小日山長春驛長等は二十三日午前鐵道局を訪問營業課に就き打合せをなしたり

◎軍經理官會議（第三日）

軍司令部會議室に於ける高級經理官會議の第三日は二十三日午前八時半より開會前日に引續き各部隊の經理現況並に特種事項及び各部隊の經理官提出事項の席上報告あり正午終了午後は永登浦皮革會社を見學せり

◎穀物檢査會同（第三日）

穀物檢査事務主任並に檢査員會同第三日は二十三日午前八時總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く直に日程に入り午前午後に亙り諸問事項ありて三時半散會之れにて本會同は全部終了したり

◎赤愛支部長囑託

忠北道長官更迭に就き新任長官張憲植氏に對し赤十字滿州支部長を同氏夫人に對し愛國婦人會滿州支部長を何れも今回總裁殿下より御委囑あらせられたり

◎官鹽生產狀況

本年は一億斤に達せん

平安南道廣梁灣及び京畿道朱安に於ける官鹽天日製鹽田は順調の發達を遂げ年々增收を示しつゝあるが今本年六月六日より十五日まで十日間の狀況を見るに其の天候前六日間は極めて宜敷く蒸發量旺盛にして鹽の製產成績非常に良好なりしも十二日以降は低氣壓屢々襲來曇天勝にて從つて蒸發力も亦少く漸次雨期に近附くの兆候を示せり、而して右十日間の採鹽量は廣梁灣鹽田九百二十九萬餘斤、朱安鹽田百十萬餘斤を算し前年同期間に比すれば廣梁灣は、五倍以上朱安は約八倍に相當す次ぎに本年四月一日以降の採鹽累計額は廣梁灣四千五百六十八萬餘斤朱安五百三十萬餘斤、合計五千九十九萬餘斤に達し之れを大正五年の同期に比すれば二千四百三十二萬餘斤を增加し大正四年の同期に比すれば三千四百三十萬餘斤の增收なり、而して更に之を本年度生產豫想高と對照せば六割六分に相當するの好況にあり從つて今後一年の平候を維持するに於ては一億斤を生產すること敢て難事にあらざる可し

◎軍司令官旅程

二十三日朝西行したる秋山軍司令官松井高級參謀野津專屬副官一行の西鮮巡閲日程は左の如く二十九日夜歸京の豫定なり

二十三日　午前九時二十分龍山發同日午後八時十三分新義州著鐵道旅館宿泊
二十四日　新義州守備隊檢閲
二十五日　採木公司及製材所並に龍岩浦視察
二十六日　午前八時三十五分新義州發午後一時二十七分平壤著同四時二十分平壤驛發六時鎭南浦著
二十七日　南浦發平壤著陸軍部隊檢閲
二十八日　[illegible]
二十九日　[illegible]

◎古海總長歸京

忠清南道に於ける巡視中なりし古海警務總長大橋高級副官國司主計の一行は豫定の如く鳥致院公州扶餘論山大田を經て二十二日午後九時南大門著列車にて歸任

◎總長下關行

二十日東京御出發御歸鮮の途に在らせらるゝ李王殿下には來る二十六日午後四時三十分下の關驛御著に付古海警務總長は齋藤中尉を隨へ二十三日午後七時五十分南大門驛出發

◎副總裁等歸期

京元線視察は見合せ

入京中の滿鐵副總裁國澤新兵衛博士久保庶務課長は二十三日午前總督府訪問午後入屋長官邸を訪へり而して併鐵協議に關する事務は入京以來銳意其進行を圖りし結果略終了するに至りしため一行は多分廿五日若くは廿六日南大門驛發列車にて歸途の途に就くべし尙ほ一行は京元線を往復し朝鮮縱斷鐵道の狀況並に元山市街を視察する豫定なりしも京城滯在日數延引せし結果中止するならんと

◎司令官代理答訪

駐剳軍副官古城大尉は二十三日午前十一時軍司令官代理として東城佛國總領事館を訪問領事グラン氏並に佛領印度支那外交官ウートン氏に對し前日訪問の答禮をなしたり

◎張長官赴任

入京中なりし新忠北長官張憲植氏は二十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて芙江を經て清州へ赴任せり

◎高瀨東拓理事歸任

東上中の東拓理事金融部長高瀨梅吉氏は二十三日午後九時南大門驛著列車にて歸京す

◎遞信官吏練習所入所

豫て受驗しゐたる遞信官吏練習所入所志願者中七月二日より通信科山與、梯田雄の兩氏に入學を命ぜられたり

◎張長官の往訪

新任忠北道長官張憲植氏は二十一日午後司令官々邸に秋山大將を訪問し新任の挨拶をなせり

◎六月中旬氣象概況

本月初の高氣壓は本邦北東部洋沖を占めたりしが前旬末に至り南下して小笠原島方面を占むるに至り揚子江流域に低氣壓頻出し漸く雨季の當來を見せり而して十二日海峽を通過せる低氣壓に依り南岸地方は百粍內外の雨あり久しく乾天なりし各地方は始めて潤澤なる雨量を見たり尙ほ六七及十八九日にも南岸沖に通過せる低氣壓ありしを以て中部以南には相當の降雨ありて木浦中の雨量は平年量を超過せり卽ち釜山の百三十八粍を最とし木浦の百二十七粍之に次げり然れども中部以北に於て依然雨勢く過日來の降雨を見たるに過ぎず卽ち京仁地方は二十粍外平壤、元山は十粍內外雄城は僅かに三粍內外に過ぎず氣溫は南部及び東岸地方は平年と大差なく南部は平均に於て稍平年より低度なりしも其他は一般に高度にして殊に北西地方に於て著しかりき本旬中の最高氣溫は南岸及び北東沿岸を除きては何れも三十度以上に昇り殊に十六日京城は三十六度七平壤は三十六度一に上れり之れ同地方に於ける夏季中の高極氣溫中從來の記錄に超過するものにして殊に本月に於て如斯高溫を呈するは全く稀有のことに屬す今本月中旬測候所々在地に於ける雨量及び平均氣溫を示せば左の如し

地名	雨量（粍）	雨天日數	平均氣溫（度）	旬中最高氣溫（度）
龍岩浦	一九	六	一六、五	三四、三
平壤	八	三	一六、七	三六、一
京城	一二	二	一六、四	三六、七
仁川	二一	三	一五、九	三三、一
木浦	一二七	五	一六、五	二九、二
中江鎭	一八	五	一四、〇	三二、六
雄基	四	二	一一、〇	二六、六
城津	三	二	一二、七	二三、七
元山	一一	二	一五、三	三一、六
江陵	一六	二	一五、八	三一、八
大邱	一七二	三	一四、八	三二、三
釜山	一三八	四	一五、八	二六、一

◎北京滿鐵公所

公所長は川上理事か

滿鐵會社が北京に公所を設置し滿鐵に關する事項に就き直接支那側との交涉に當らんとするの計畫は久しき以前より懸案にして支那の政局今に至るも安定せざると且つその公所には適切なる人物を要するが爲め今日に至るも猶ほ其の實現を見ざりしが聞く所によれば此の計畫は其後大に進捗し支那政府も既に同意を表し公所の主腦となるべき人物も現內閣に於いて略々選定濟となれる由なれば愈々遠からずその實現を見るに至るべく公所長としては滿鐵會社の外交通たる川上理事出でゝ親しく其任に當るならんと（大連）

◎門外漢當選祝賀會

門外漢懇話會主催となり門外漢一派の有志相會し來る二十五日午後六時元御成町なる內集會所に於て今回京城學校組合議員門外公認候補者として推薦したる肥塚、河村、高山三氏の當選祝賀會を開催する由

滿鐵總會見物記（二）

株主希望の條々

▼先づ、質問の第一矢は撫順炭の販賣價格のことより開かれ申し候、株主曰く、頁上の石炭二百餘萬噸に對して其利益二百餘萬圓、噸當りの利益一圓弱、昨今炭價騰貴の際、僅かに此の純利を見るは頗る遺憾なり、恐らくはこれ販賣の方法に缺陷あり大口賣買の弊害を受くるならんかと。總裁曰く、撫順炭は採炭上の採算、販賣上の採算、共に九州炭の如き地元に於て廣汎なる消費地を有するものと全く趣を異にす、特に會社は販賣に就ては、大手筋の獨專に陷らざるやう留意しつゝ販路を開拓せり、幸に諒せよと。

▼第二矢は政府配當金の撤廢に就いて放たれ申候。株主曰く今期の政府配當金に二百五十萬圓を計上しあり、是れもとより政府が滿鐵のために投下したる一億圓の資本に對する報償なりと解釋すべきも而かも元來かの一億圓は引繼當時會社の財產に對する評價にして、果して當時引繼の際一億圓の價格ありしものなるやに就きては疑なき能はず、安奉線の如き、實に其後根本的の大改良を加へて今日の態をなしたるに過ぎず、且つ又滿鐵の經營なるものは鐵道、鑛山の有利事業のみならず、港灣整理に及び、市街建設に及び、國民教育に及び國家的施設を政府に代りて爲すもの多々、然らば寧ろ政府は、その配當金を辭退せられて然るべきに非ずや、希くば總裁に於て政府と交涉ありたしと。此時、贊成々々の聲、大に起り、株主心理を群衆的に發揮すること暫時。總裁に於て、株主諸君の御希望として承はり置くとのことにて幕がつき申し候。

▼次いで、更に株主側より、滿鐵株主の所有株に對する所得稅の免除及び最高配當制限の撤廢を政府と交涉ありたき旨の希望出で、總裁より之に對して御希望の事は法律の改正に待たざる可からず、愼重研究す可きを述べ、次いで、製鐵所、鐵道港灣の政策、新設工場の經營等のため要する資金を新株二十萬株を募集し其拂込金と、大正三年の總會にて議決承認を得たる社債二千萬圓の中最近に募集する五百七十萬圓とに待つ可きことを宣明して、新株發行を議題とするや、またく各種の希望は株主側より續々提出せられ候。

▼新株發行の次第は、本年九月一日現在の政府以外の株主に對し、所有株三株に付一株の割合を以て割當て、その申込證は九月十八日迄に滿鐵東京支社に到著するやう差出し第一回拂込金は一株十圓、拂込期日は十月一日とし、其他一切の事は總裁に一任することにて候。是に於て、株主側より、端株の處分に就いて小株主に對し特別の考慮をせられたきこと、將來新資金は社債によらず株券に求められたき希望ありしかくて監事中橋德五郎氏辭任後の補缺選擧に移り、大倉男の動議にて出席株主中より總裁指命の詮衡委員四名を擧げ選定の結果、佐々木勇之助氏に決定、先づ以て無事閉會仕候。

▼由來、株主なるものが、その所謂『資本家』たるの權利を眞面目に振りかざして、彼等の所謂『使用人』たる總裁以下重役諸氏に對して、會社經營上忌憚なき所見を陳じ得るは總會に於て、總會の機會を見出すものにして、滿鐵、鮮銀、東拓の總會の經過の如きは京城日報の讀者諸君が特にその詳細を知らんと欲せらるゝ理由あるべしと存じ候。記者は先般丸の內の銀行集會所に開かれたる鮮銀の增資總會の經過報告の總會、及び東京商業會議所に開かれたる東拓の總會に於て、殆ど特に讀者諸君のために報告すべきものを見出さゞりしも、後者に於ては疑の東拓鷲島出張所長たりし某君が一株主として、石塚新總裁に對して、前重役の慰勞金撤廢其他辛辣なる問題を提げて、懇答し居りたるを記憶せるを附記いたし候。何は兎もあれ、配當金さへ多ければ、總會は無事泰平にて候ふべし呵々（東京支局にて高賀生）

【馬山】

▲稀綿工場設立 木浦綿花株式會社にては馬山府舊馬山に分工場を設立せんと先般來種々調査中なりしが此程漸やく協議一決し附地耶蘇學校の附近六百餘坪の買收も終り近々工場建築に著手すべしと

▲最近馬山電燈數 京城電氣會社馬山支店に於ける最近の電燈數を聞くに各燈合計二千三百九十四個にして之を十燭光に換算すれば二千六百三個にして先月に比し八個の增加なりと

▲市場放賣額 五月中に於ける昌原郡各市の放賣額を聞くに昌原市場は二千百圓上南面斗刀米市場二百五十圓慶和洞市場八百圓熊川市場五百圓院里市場二百六十圓鎭海水產市場二百二十五圓なりと

▲馬山地方の陸地棉 當地方に於ける陸地棉は五月中旬發芽すべき筈なるに旱魃の爲め稍後れ中に多少の發芽したるものも枯死するの有樣となり憾くては本年の棉作は大々的不作ならんと農民憂愁の色ありしが過日の喜雨に加ふるに昨今又々降雨ありしかば一時に發芽し此分ならば七八分作には達すべしといふ

▲農家の困窮 米價の昇騰に引續きて物價は何れも天井知らずの高値を示しつゝあり而も一方民間の金儲けとては貯藏米を放賣し盡したるを以て米價の騰貴は何等の利得なく此以外に於て地方民の惱みを溫むべきの事事は一も起らざるが爲め中以下鮮人の困窮は絕頂に達し碎米を購入する位のものは上々の方にて何れも草を摘み松皮を剝ぎて食料に充てつゝあり地方に依りては今にも餓死せん慘狀を呈せるも尠なからずと聞けり

▲春繭收穫高 昌原郡管內の春蠶は昨今上簇最中にて今一兩日內には全部の上簇を終るなるが本年春季は時候遲れの爲め上簇時季もやゝ後れたると旱魃の爲め桑の發育に多少の被害ありしを以て隨て收穫上に尠からず影響し約四十五石內外ならんと

▲馬山の貿易狀況 五月中に於ける馬山港の貿易狀況を聞くに輸移出六千五百三十圓輸移入七萬四千百六十三圓にして之を前年同季に比すれば輸移出に於て一千八百二十六圓輸移入に於て一萬八百八十三圓の增進を示せり其原因輸移出に在りては前月來引續き金鑛の增出ありしと輸移入に在りては小麥粉酒木材等は退減せしも砂糖、棉糸、金巾類の增入を見たるが爲めなりと

【鎭海】

▲貯金狀況 五月中に於ける當地の郵便貯金狀況を鎭海郵便局に就き調査せるに預入口數一千四百十五口此金二萬六百二十一圓、拂渡高八百四口此金一萬六千三百三十圓、貯金受入前一千二十三口此額一萬一千十九圓拂渡七百五十二口此額九千五百四十圓なりと

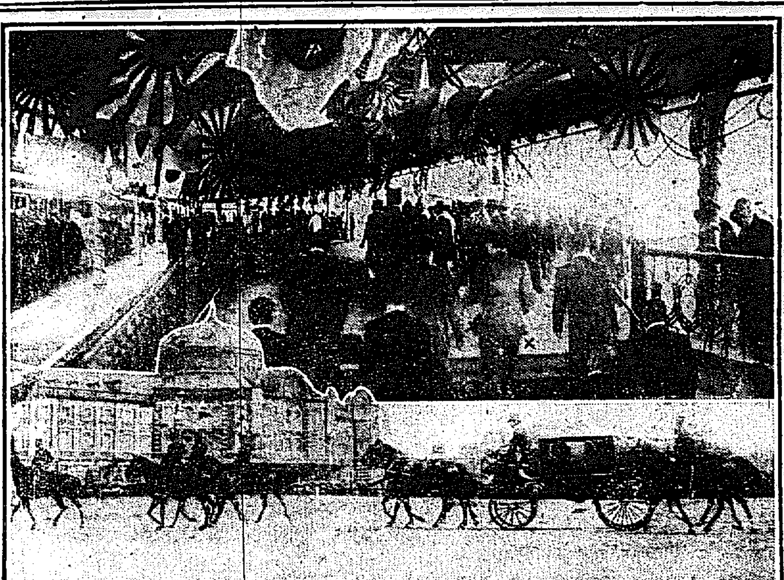
▲鎭海漁商會 同會に於ては此程總會を面役所に開き安藤署長、皆藤分隊長、魚商長、大坪學校組合管理者、松尾、村上、九鬼の各委員出席申合せを爲行することを議決散會せりと

▲鎭海青年會 同會にては此程臨濟宗布教所見師傳愛師を招聘し一場の講演會を催したりと

▲虎疫豫防注射 鎭海にては同灣內居住の各漁業者に對して過般來水產組合鎭海出張所に於て虎疫豫防注射を爲し已に第一回を終へたるが去る十五日第二回の豫防注射を行ひたり其人員三百餘名に及べりと

人事消息

▲三田善齊氏（咸北道第一部長）　二十三日退京
▲市川第三十九旅團長　同上
▲新田彌一氏（東京貿易商）　同上
▲志賀良三郎氏（釜山郵便局長）　二十五日夜入京京都尾張館へ投宿の筈



李王殿下東京御出發 六月廿日午後二時殿下御退京東京驛に御はせらる(下)東京驛ホームを上らせらるゝ殿下×の左(上)(東京支局撮影)

桃山御陵御參拜
李王殿下城南の山水を賞せらる

二十三日李王殿下には桃山御陵御參拜に就き御陵域は清掃せられ御陵の御拜所神饌所幄舍等を設け御陵の裝飾を爲せり仙石式部官園池掌典等著床し掌典祝詞を奏し退下す是より先李王殿下には九時自動車にて長樂館發桃山に御著御陵前に參進拜禮あり續て昭憲皇太后陵にも拜禮ありしが雨後の桃山は緑滴る許り城南の山水風光繪の如くなるを賞されつゝ自動車にて御歸館遊れて李王世子殿下も御參拜ありたり午後は兩殿下共久邇宮邸御訪問三時王世子殿下は長樂館御成り深草練兵場にてスミス氏の飛行御覽の豫定なり(京都にて中谷特派員發電)

李王殿下と記念の圖書
御手許金五千圓を東京市に下賜

李王殿下には御上京記念とし御手許金五千圓を東京市に下賜ありたるが二十二日の東京市參事會にて其受領を議決し之を圖書館基金に編入し其利子年額二百五十圓の範圍を以て圖書を購入し該書籍には李王殿下記念圖書と捺印し永遠に記念する計畫なりと(東京特電)

東郷中將經過

東郷鎭海要港部司令官は二十二日宗谷博士の診察を受けしが別に手術をでには約四週間を要す可く又令夫人は二十四日頃到著の豫定なり何ほ柳町主計長、菅門副官も共に手術を要せざるも二週間乃至三週間の治療を要する旨其の筋に電報ありたり

李王並に世子殿下に獻上品

京都府及び京都府知事より李王へ衛模樣鷹織卓子掛、細工見布一臺李王世子殿下へ金蒔繪硯箱を大阪市より李王殿下へ大阪市誌八冊京都市よりは菓子一台を獻上せり(大阪特電)

東郷中將夫人

二十三日來鮮鎭海へ 鎭海要港部司令官東郷中將夫人は子は二十三日朝連絡船さくら丸にて著釜午前十時半發列車にて鎭海へ急行せり夫人は四月中將が鎭海へ赴任の際同行鎭海に來りしも子女の教育上逗子に歸り居たるが二十日中將災難の電報に接し單獨看護の爲め來り

愛婦會より見舞

愛國婦人會朝鮮本部にては東郷鎭海要港部司令[illegible]をナイフにて刺したる市本福松に對する傷害事件の公判は二十三日釜山[illegible]

第六回例[illegible]を開催の筈なるが今回は小品物を主とし別室に依託賣品をも[illegible]

しものにて中將の負傷は全快迄四週間を要する程の重傷の由なれば氣遣はしく只今の著電に依れば體溫三十度五、脈搏七十五とあり幾分安心なれど親しく見舞はざれば斷定し難しと語り居たり(釜山特電)

邦人義勇兵名譽の戰死

和歌山縣西牟婁郡和深村山崎常松(三七)は義勇民團に入り佛國アラ方面の戰鬪に參加し戰死せしとの報著せり(大阪特電)

京大生放校處分となる

京都帝國大學法科大學二年生宮城縣人片山三郎は試驗中窃にノートブックを繰りし事知れ放校處分となる(大阪特電)

地久節奉祝會

愛國婦人會朝鮮本部にては二十五日午後一時三十分より黄金館に於て地久節奉祝家族會を開催することゝなり目下種々準備中なり

小手の利く天一
露西亞美人と懸賞金時計が呼物

京城では今度も二十二日から黄金館に開演した松旭齋天一が非常に人氣を集めてゐる、一行中には露西亞人が多くゐて純露西亞人式の奇術を見せ伊太利ダンスを演ずるといふのが一般の興味を惹いてゐるのと天勝と同じ筋の藝を持つてゐる天一とは何れが確かであるかといふのが興味を呼んでゐる、多くの番組の中で最も見應へのあるのは西洋滑稽曲藝、懸賞金時計付のダブルボックス、天一のカードの使ひ分け等で此の外奇術應用喜劇、支那人の曲藝、露西亞婦人の自轉車乘り、足藝等で天一の手先きの術は長年歐米で鍛へ上げたものだけに天勝より遙かに器用なもので殊にカードの使ひ分に至つては全く旨いものである

壽座の源之丞

圖廿二日の晩から壽座に蓋を開けた源之丞の初日を例の賑かな大日本麥酒京城出張所の贈り物を貰つて觀る。據ころない義理への爲に一番目の石井常右衛門を見落したれば、以下源之丞の表看板といふ義經千本櫻に就いて書く。

圖道行ではおその、たか、十郎など中堅藝者連中の出囃子が吉野山の遠見の背景と共に賑かなり何處か鳥渡祐幸に似たところのあるのし尾の節は何んだか血の道でもよつてゐるやうに色氣に乏しかつたが語る事は案外素直でピヨンピヨン跳ね廻る忠信を程よく踊らつてゐたのはよし。

圖源次郎の藤太は、顏の扮粧、著付など最も少し滑稽たる方仕勝ちでもあり無なるべし、七三で立留つて『まて〳〵家來共』のあたり最も演ごころなる此の役所りに七月の雛過ぎたり、一體四天も氣の利かぬのが多かりしそれから耳觸りなりしは『總じて戰さといふものは——』の台詞を『總じて戰さの始まりは——』と言ひし事なり、理屈を言へば長くなるを以て省くも藤太には恐らく然うはない筈皆多く知つてる事なれば注意々々。その他家內にもこなしにもいろ〳〵氣づきたる點あれども深くは言はじ。しかし全體から言へば左程拙い方でもなさそうなるに悉役の用米では三枚目の役格なし。勉强が肝要。

圖源之丞の忠信は常々クレンな役物にしてるだけありて美事々々で身をつけたいのだがそれでは餘まり曲がない——とあるなら先づすつぽんから現はれる型もよく美しい忠信なり。靜、藤太と絡んでの振りはいゝさするし、天を杯手の立廻りはいかに大町代さは官へ退う少しきせ〳〵行かぬものにや。但し四天の上に乘つての蔭切の大見得、幕外引込みの人形振りの飛び六法は大向うを唸らせたり

圖御殿では靜、相變らず、悉さに傷んだ質無し花のやうにて色彩に乏し、大三郎の義經は蘆茼梃しに落ちつきあり、度胸もあり大まかな所がその人らしく確かに立派な大將と受取れたり。四天王の內では龜井六郎が出色の出來。

圖源之丞の忠信及び二役早替り源九郎狐は早替りの爲の早替りで揃の上の髄鉢立ち梁柱に雨を凌ぎ絡んだ手觸しの見得、欄を抜けたりするのと共に、猫額鐵尾曲鑿であつた事には角兵衛獅子のやうに逆の蜻蛉返りを抜けたり敢へてオ諸は抱くまじと思ふ。之れ能い間違へば臆天でも捏くか貼削の三枚四枚近ぐにへシ折つて終ふ危ない藝當を平氣でやつてる努力に敬意を表すればなり。その曲藝の餘りの鮮かさに客は眾より義經も靜も暫し唖な忘れて見上げ見下してゐたる程なり。

圖鮮治の曲藝と言へば合方の觀玉管兵衛家十郎が時流(今の腰六)の弟子で仲村座といつた時代その座に二間の丸太を是にむびつけて鋼途に現はれ尾見の頭巾の牌やかにかで暴れた役者ありて大評判なりし事が記憶せるが今度の源之丞も狐と猿と違ふだけで同巧異曲、狐か乘り移つてゐるやう。輕業振は何人も話の種に見て置きたいもの確し一度見ぬは阿呆二度見るは馬鹿の類ひか。

圖天下一品の曲藝相介は別と普通の忠信役者として見たる源之丞にも中々捨てられぬところあり、殊に鼓の音に聽きとれみあたり多少調が過ぎる嫌ひはありたれど親な思ふ小狐の心持ちも現はし居りてよし、佐藤忠信の押出しも立派、すべてのこなしが柔かくて輕業調子なる事なり。唯此の名優困つた事に靈高が稀代無類が長いといふ洒落からでもあるまいが最高の上に一層の尻上りで語尾を引く癖は聽き苦しも聽き苦し塡らによつてはチヨンガレ節と間違へられても一言もあるまじ。此れさへ無ければ若いのに似ずいゝ役者、これこそコン〳〵様の神通力で何んとか直らぬものか。終りに臨りながら花道から出る坊主共は變な恰好だがあれで丸儲けのつもりしきところ役山の好い事なるべし(——星——)

大邱に疑似虎列拉
目下菌の培養中——發病系統不明

大邱東城町二丁目二十九番地理髮業裴相鎭の妻朴妙連(四一)は二十一日夜激烈なる下痢をなし身心著しく衰弱し苦悶するより京町金醫師の診斷を受けたるに同醫師は其の病狀が虎列拉の病狀に同じきより直ちに糞便を大邱慈惠院に送り同醫院試驗室にて廿二日顯微鏡檢の結果雜菌を發見し取敢へず擬似虎列拉として目下菌の培養中なるが此屆出に接したる大邱警察署にては署長衛生技師等直ちに該家に出張し調査したる上附近の交通遮斷を行ひ府衛生係と共に患家及び附近に對し嚴重消毒を行ひ患者を大邱隔離病舍に收容したるが發病の系統不詳なりと(大邱)

懸賞五人拔 好評
大田の大相撲

京城日報大田支局好み銀盃懸賞五人拔は二十四日午後に決定發表するや遠近好角家の歡迎湧くが如く前景氣盛なり(大田特電)

愛讀者優待 本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候 東京相撲 木戸割引券 京城日報社 大田興行中

呪はれたる女の運命(九)
物凄い冷笑ひ

有松が釜山監獄で苦役に服して居る間に平壤に殘されたお梅の上には樣々の事が起つた。

お梅の許には平壤每日新聞に好意を持つて居られぬいろ〳〵の人達が出入して居つた。彼等がどんな事を企んだかそれは窺い知る事は出來ないが、とにかく有松が去つて暫くすると平壤の主なる田原董庵は或る匿名者の寄書を平壤紙上に揭載した爲めに誹謗問題を起して平壤監獄に收監された。

經營者に其の人を得なかつた事は素より其の主なる原因に成つたに相違ないが。それから幾何もなく平壤每日新聞は內部の悶著から大正四年の春遂に廢刊の止むなきに立ち至つた。

冷酒が湛へた杯を推して此の新聞の廢刊に就い一笑を浴せかけたのあつた事は誰れも知つて居る者はあるまい。

『奇麗な大同江の流、妾の好きな牡丹臺の山、妾はお前さんだちに好きな逢ふた時に、妾しの穢れた心や膽を、厭やでもあらうがすつかりお前さんだちに任かせて、もう〳〵二度と何處つこへも動かない心算であつたのだけどね、悲しい果敢い妾の運命は又美しい奇麗なお前さん達と別れて、これから先き何處かの野原か溝の中で行倒死するんでせう。お前さん達も泣て妾を送つてお呉れ』

平壤每日が廢刊になつてからお梅は急に平壤に居るのが厭に成つた。彼は一日も早く釜山へ行き度いと考へて居た。しかし少からぬ借金を背負つて居る彼が思ふ通に樣替へる事の不可能のは言ふまでもない。

長い間の願ひでやつと大正五年の冬お梅は今の七福亭に住み替へる事に成つた。しかしそれは彼に取つては六日の菖蒲十日の菊であつた、何故なら其の前の年の冬田獄して暫く京城に來て雜誌新天地に入つて居たが、この時はもう大阪へ行つて居つた。

お梅は七福亭からお多福と名乘つて平壤と同じやうに格子の中に宵の灯に綿の太い白い顏を照らさせて居つた。

お梅が七福亭に來て四五十日經つて市本福一と云ふ元牛肉屋を營んで居た男が通つて來た、男は引續いて三四十回も登樓した。しかしお梅が此んな男で喰足りる譯はない。お梅は男の金の有りつ丈けを絞つて突放してやつた。

男は遂に今月の九日の晩隱して持つて來た大ナイフで突然お梅の脇腹を抉つた、男が直ぐさま捕へられたが命強いお梅は急所を外れて其の傷は輕かつた。

お梅は有松の勸めて居た監獄の屋根を眺めたり汀を洗ふ波の音を聞いてはせめてもに寂しい心を慰めて居つた。

波に流されてゆく木の葉のやうな彼の女の運命は暫くも平安である事は能きなかつた。

彼の女は再び命の限り呪はれたる其の運命をくり返へして行くであらう。(終)

讀者文藝 (一等に五十錢賞)

△川柳『白』

小盜人百圓札は置いて行き(一等) 京城 尚海

赤い袖染め直す頃首になり 京城 しげる

首縊の長が身代を潰すなり 萩川 松月

百恋を進せど貧乏がつきまとい 沙里院 淸水 十寸

鏡石もみそこし一つ質置き [illegible]

課題募集規定 △新體詩、和歌、俳句、川柳 課題は毎週[illegible] 一週間投稿締切 匿名の外に住所氏名明記の事 同形の洋紙一枚毎に紙上の裝[illegible]

天氣 晴れ時々曇り 六月廿四日

商況

深川在米特電

二十三日現在高	
內地米	八九、六九一
臺灣米	三九、五八〇
外米	一、七六〇、二五五

東京公債直取引

二十三日出來値 五分利 [illegible] 九〇、五〇 九一、六〇

東京期米特電

二十三日前場 寄付 三一、七〇 [illegible]

大阪三品特電

二十三日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十三日前場 六月限 二六、一〇 七月限 二七〇、〇〇 八月限 二六八、〇〇 九月限 二六七、四五 十月限 二六七、〇〇 十一月限 二六七、〇〇

下關期米特電

二十三日前場 [illegible]

雜報

三品跳返す
昨前場三品市場の反動崩れを喚び綿布又不勢を報ぜしが後場に至り跳返し[illegible]

綿布又九圓八十錢
綿糸現物一二圓安

銀價昂騰
銀相場は更に八分の一騰貴して三十九片八分の五となり又共益社入電大連銀は前日より又九十錢方昂りて百二十四圓四十錢と空前の高值を示し同時に三品市場大に現物先物とも持騰貴せり

粗布賣止解除
初入賣止めとなりし東綿粗布は其後十一日朝に至つて一旦之を解除すると同時に建値三三二、二十一、二十四の發表を爲せしが大阪相場の激變を傳へて市況不穩の兆候あり[illegible]

補給の途
[illegible]

表賣止解除
[illegible]

三十圓高へ發
二十三日より三十圓高に値段は去十一日これり失れと同時に[illegible]

正米高人氣
仁川期正米高に刺戟せられ[illegible]

約二三十錢高
五十錢高
休會中の天候
及期米界の情勢
買入側も傍觀
互方睨合の姿

空瓶空罐好況
約一厘方下
一錢三厘處
暴騰
スレート好況
一割方値上
京城雜穀

內地 白米卸値上げ
約三十錢高の二十
一圓八九十錢
小賣値は現狀維持
値上せる石灰

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川港町三丁目 電話三二一、一四一 振替口座京城四〇三

材料運賃等の騰貴
南鮮沿岸へ仕向け增加

仁川期米
二十三日前場
大阪天候曇天
四錢高
三錢高に寄付十
入電

仁川米豆取引所 二十三日の八月限

寄付	二十九圓七十八錢
止め	二十九圓七十錢
高値	二十九圓七十一錢
安値	二十九圓五十五錢
出來	六萬千五百石

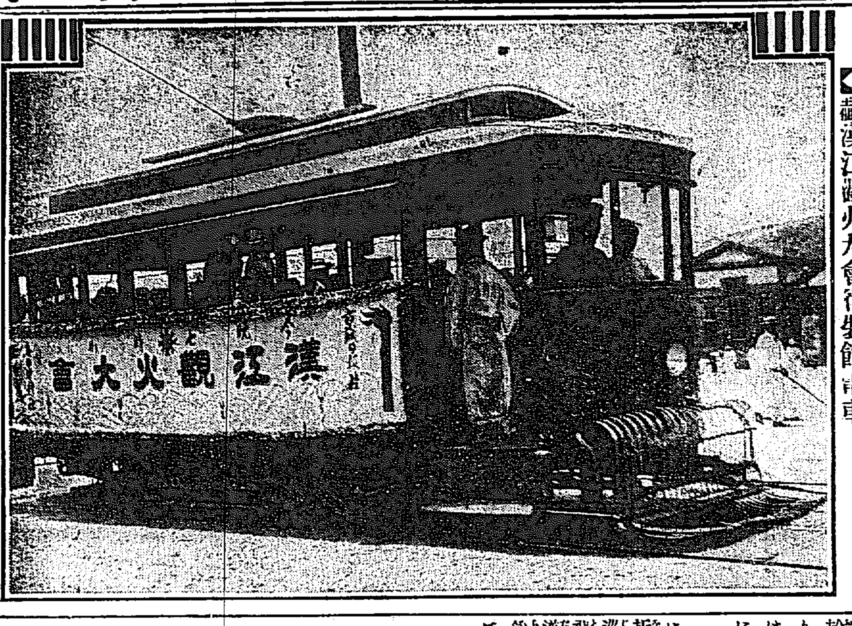
期米
齋藤榮之助 仁川米豆取引所仲買人

市場零聞
俄然反動安
十九錢と暴騰時
七十五錢と氣崩
模樣

南大門の廻穀
釜山穀物(廿二日)
生魚市場
青物市場

不勢下押す
大に買氣を刺戟
遂に反動安を演出
雨見越しと云爲
高値摑の投げ物多く
正米界は釜山鎭南浦其他の地方より買物入り込み
相場は頭支へ模樣を呈す
人氣は茲に至つて
大混戰大商盛
㊦の買に就て
一擧に三萬
五千石の大石數を買建に至て其本尊の普通

旱魃區域擴大
全羅道の忠淸道
京畿道黃海道平安道



◇漢江觀火大會行裝飾電車

●東郷中將遭難詳報
慘澹たる當時の光景＝不幸な妓生

東郷司令官一行の乘込みし馬晉間自動車墜落の椿事に就て詳記せんに當日の乘合客は鎭海要港部司令官中將東郷吉太郎同主計長中監棚町五十吉同副官少佐普門卯之助三氏の外に埼玉縣兒玉郡美上村安原虎次郎（四七）晉州面平安洞金時彦（五三）馬山府萬町妓生鶴姫（二九）都合六名にて外に所有主兼運轉手絵川正道同助手李基元（一七）あり午後二時十分頃李助手の運轉にて馬山を出發し郡北に於て李は絵川と交替したり斯くて行く事里餘院北峠と稱する

◎成安晉州の境界に 差しかゝりしが同所は昔に名高き山嶺にて山岳密集し急勾配なれば道路も山腹を蛇廻して開修されつゝあり足一度踏み過まれば千仭の谷底に墜落すべき危險の場所なるが車は進みて曲折せる下り坂にかゝりし時後車に當りて突然ブル〳〵と震ふが如き響あり運轉士は故障にても生せしにあらずやと振り返へる刹那、自動車は人力を以て如何ともすべからざる勢ひにて疾走を初めたるより梶を返さんとせしも遲く車體道外に逸出して約一間餘山裾に墜落せり、此時車上の乘客も運轉士も

◎車外に跳ね出され て鶴姫は巖角に之れより約五尺を隔て、東郷中將倒れ之れに右向して絵川、棚町、普門、安原等點々打倒れたるが自動車は墜落と同時に益々勢凄しくモンドリ打つて再轉三轉約二十餘間の谷底に墜落し滅茶々々となりたり此突發的大椿事に一同は一旦人事不省となりたるが第一番に絵川は息吹き返へし四方を見回はせば乘客悉く重輕傷を負うて倒れ居り中にも鶴姫は右腹骨部に穿孔性大挫打あり

◎血痕に染みて絶息 せる樣子に絵川は自己の負傷に氣も付かず早速同人を抱き起して人工呼吸を施したるも何等の利目なきより斯くて時間を經過せんには其他の人々の一命にも罹りては大變なりと痛手に屈せず山を匐ひ上りて駈け出す折柄幸ひ空人力車の到るに出會したれば取る物も取り敢ず飛び乘りて郡北に赴き其旨住民に告げ知らせ一方に於て晉州馬山鎭海等へも急を告げたり此急報に接したる郡北在住内地人は中江駐在巡查を初め男子一同總出にて現場に驅け付け

◎不取敢負傷者一同 に應急手當を施し看護怠りなかりし折柄馬山よりは北村警察署長、兒島巡查等醫師大串儀氏と共に自動車を飛ばして驅け付け晉州よりは佐々木道長官佐々木第一部長水曲警務部長等慈惠醫院醫官看護人を隨伴せしめて現場に出張し手術を施こし一同を看護して一旦郡北に引戻し福原氏邸を假宿として負傷者の手當に盡力せし甲斐ありて即死せし鶴姫の外は生命に拘るものなきに至りしは不幸中の幸と謂ふべし、同夜は郡北福原邸に一泊し翌二十一日鎭海より出迎へたる光本軍醫長一行と共に東郷司令官一行は

◎自動車にて鎭海へ 引返すべく見舞の爲め出張せる佐々木長官水曲警務部長佐々木第一部長北村馬山署長等に看護され午後一時半馬山に著直ちに出迎への要港部汽艇に轉乘馬鎭兩地官民多數の見舞を受けて同部病院に收容されたり、中將は重傷なるも頗る元氣にて經過良好なり棚町主計長、普門副官は輕傷なれば別條なかるべし、鶴姫の屍體は馬山なる親許に引取り荼毘一片に附したりと（馬山）

灘の砂

◎餅に祟らる　群馬縣群馬郡金島村岸延平（三八）方は渋川町の乾物商永井孫三郎方から十六日餅一把を買つて十一人の家族が食つた所内七名は激しい中毒を起して大騷ぎをなつた

◎因果報應　名古屋市中區東陽町菓子商內藤佐久眞妻とき（三六）は樽山の男と關係し夫から誤解されて改心したが林久吉（四七）といふ蛇のやうな男が飽迄附け覗ふので窮しさと良心の苛責さに耐ねず十九日服毒死を遂ぐ

◎人と狸の格鬪　熊本市御幸橋下に十八日の白晝一匹の狸が迷兒になつてゐるのを附近の石原某が生捕らうとしたが狸も去る者井川の水中に逃げた奴を追つかけ水中で大格鬪の末見事生捕め上げた

◎恐ろしい人斬　長崎縣上松浦郡吉井村津山仙太郎（四五）は村民が自家を盗殺するものと變な考へを起して鎌を持つて村中を暴れ廻り一村を盗殺しやうとして五人を斬つた

◎犬の裁判沙汰　京都七本松仲町下る小林重之助は正辻七本松西入飯田ひさに犬を預けて置いたが之れを紛失したので十五圓の損害賠償の訴訟を起して判斷となつた

◎二晝夜水漬　佐賀縣杵島郡中通村生れの白痴古賀龍八（四〇）は十七日私庭の黒門橋下の水中に落ち込んだが深さが胸迄位で溺死するに至らず其儘二晝夜水漬けになつてゐる所を巡査が引揚げた

●朱安鹽田では 旱魃結構
本年豫想千萬斤
＝昨年に比して三倍增收＝

朱安鹽田に於ける本年度の採鹽状況を聞くに三月以來六月中旬に至る迄の製鹽高は五百三十二萬七千八百二十斤で大正五年同期に比較して實に三百六十一萬六千百六十二斤の激增を見るに至つた此れ本年三月以降は

◎勞棒な晴天續きで降水量僅かに九十三粍六に過ぎなかつたのに比し昨年三月以降は天候不順で降水量實に五百五十四粍九に達し從つて製鹽高に著しく影響を及ぼした結果である斯樣に採鹽事業は

◎降水量に反比例して 成績を上下するのであるから昨今世間では太陽を惡魔の樣に呪つて居るのに反して鹽田では旱魃樣の景氣である上半期の成績が右の如く大成績で本年の生産豫想高八百三十八萬斤に對し既に

◎六割三五強に達した から此分では十月下旬の製鹽終了期迄には一千萬斤の製鹽高を見るに至るであらうとの見込みである大正三年以來の製鹽高比較を掲ぐれば（左）

年別	自三月至六月	自六月至十月	計
	千斤	千斤	千斤
大正六年	五、三二八	四、六七二	一〇、〇〇〇
五年	一、七一二	一、三四九	三、〇六一
四年	二、三九八	二、八〇〇	五、一九八
三年	三、三六六	四、四六七	七、八三三

◎武德館の奉納試合　京城武德館にては廿四日午前七時半より南山天滿宮に於て奉納試合を舉行し師範陣內、庭崎氏門下生一同の出演あるべく因に當日は劍士一同天滿宮に參拜の上大日本帝國劍道基本動作、劍道形、薙刀基本、武裝戰を試みいよ〳〵紅白勝負の後は薙刀形及び源々試合を催ほし次いで昭試合、薙刀試合武具整理裝束等を行ふべしと

◎京城琵琶會創立　京城の筑前琵琶は昨今あらゆる人々の間に普及して來たが中には琵琶本來の高雅な趣味を卑俗な低級なものゝやうにして了ふ人もあるとかで道同京城筑前琵琶同好者が革新派として蹶起した、會は金子子爵を會長とする東京、旭會本部との連絡を圖り特に宗家から教師を招聘して熱心なる研究を試むる筈、會員は明治町の梶本商館主を主として嚴めしい堅の紳士を會員として居る、尚ほ入會には會員二名以上の紹介が要るとのこと琵琶本來の家庭音樂たる主旨から一般良家の夫人令孃の演奏會も開催する筈

◎慈善書畫會　鎭南浦に於ては京城支部を龍山に設け大いに慈善事業に努力し篤志者には京城知名の士を網羅しつゝ有るが今回仁川に於て慈善書畫會を催ほし[illegible]及び抽籤に附する由希望者は基督教青年會内慈善書畫會派出員に申込まれたしと

◎仁川波嶋會發會式　仁川波嶋會にては二十四日午後一時より宮町八坂樓に於て發會式を催ほす番組は次の如し
高砂、八島、熊野、櫻川、葵上、鞆吟には眞刈（鈴木）後、玉葛、川畑孤伯、熊坂、花筺、土蜘蛛（山口）小督、平尾鵜の段（山縣、櫻子入羽衣（飯田）府弱丸（狩野）、杜若、鈴木）鉢木（川畑）、乘栄（山詩頭會員）池辨慶、廣獄、羽衣（鵜子、忠度（大田）百萬（尾閉）

◎師匠淨瑠璃四日目　（二十三日）師匠淨瑠璃會四日目の語り物及び出演時間次の如し
▲忠臣藏六段目（七時二十分）皆登太夫梅若▲山名屋（八時）朝太夫龍緑▲いざり瀧（八時四十分）奈良揚榮若▲阿漕（九時十五分）彌島太夫小庄▲白石揚屋（十時）南次太夫奈良梅▲掛合七福神（十時四十分）太夫三味線總出

神社とお寺と教會

○京城基督敎會（南米倉町）六月二十四日午前十時日曜學校同十一時禮拜說教井口牧師午後八時夕拜說教『最近に得たる自覺』松本正竹氏

○聖公會日曜學校（南米倉町）六月二十四日午前八時三十分日曜學校午前九時三十分聖餐式說敎施洗者『ハキ』一色司祭午前八時晩禱傳道說教委員

○メソヂスト敎會（旭町二丁目）二十四日午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜說教『西洞音の宿望』直原牧師、午後八時說教『恩寵の生涯』同人來會歡迎

○龍山日本基督敎會（漢江通）二十四日午前九時日曜學校同十時禮拜說敎『安息日の祓守』伊藤技師同午後八時夕拜『神子藏』說教同人

○京城日本基督敎會（長谷川町）六月二十四日午前九時日曜學校同十時禮拜說敎『入信の理由』井口牧師同午後八時傳道說教『ザアカイの回心』金子牧師

○曹洞宗別院　二十四日午前九時より講風會例會午後八時より地藏尊の說敎あり

燈ともし記

沙里院市場のある雜貨店で二三日まへ犬も喰はぬ夫婦喧嘩が持ちあがり細君は大いきごみで亭主に離縁狀を渡せと迫つた▲然るに御亭といふのが生憎小學校のない時分に生れたとて一向三下り半がかけさうにもなかつた▲そこで鉢卷で考へた末ヨシ斯うして呉れるとばかり半紙を取出はよいが墨くろ〴〵と記したのは一升桝と釜の木の梲のまづい繪であつた▲そこへ仲裁が這入つてマア〳〵と押し鎭め全體これやなんぢやいと訊くと『こんなお多福奴は一生カマワン!!』▲府内で十箇年以上牛乳配達したといふ人から世人の嬰兒を牛乳で保育することを注意して來た▲それは產れて一箇月の嬰兒は一合につき水五合の割合でませる、二箇月三箇月はそれから五勺宛減じ▲ついで四五六七八九十月までも同じく五勺宛減ず十一月目からそのまゝの牛乳でよろしいとのこと▲二十一日吉野町の入口に大きな汽罐を牛八頭に牽かせた大八車が來た▲來たはよいが車諸共大地へはまつて拔きもさしも能きずたう〳〵一日中牛も汽罐も立往生はひどい

演藝案內

明治町 浪花館 電話二六〇
▲女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行今回本社々員の御巡業の名殘り特別興行として開演 ▲後藤又一郎（菊若）▲小栗判官（吉田奈良子）▲播隨院長兵衛（菊若）（京山相生）▲義士傳俊德丸（夏菊）▲千兩幟

京城壽町 壽座 電話七五八番
▲大阪大歌舞伎澤村源之丞一行 六月廿二日より廿八日迄日延なし 廿三日（二日目）藝題 前 岩見武勇傳 切 天下一品義經千本櫻道行より御殿まで 源之丞十八番の狐忠信けり ▲特等九十錢△一等七十錢△二等五十錢△三等二十錢 中等[illegible]

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ○廿日より五日間名寫大寫眞提供日延及割引なし ○實寫[illegible] ○近代の傑作○浪樽大活劇『デブ君と…』[illegible] ○米國トーマス、エイチ、インス會社特作品○戰爭？平和？『シビリゼーション』（全十卷二箇千有餘に渉る大戰爭）[illegible]

京城壽町 壽館 電話一〇五〇三
◎竹本彌島太夫歡迎師匠淨瑠璃會 六月二十日より向五日間 ▲廿三日（四日目）語物番組 [illegible] ▲特等一圓△一等七十錢△二等四十錢△三等二十錢 [illegible]

早川演藝部直營 有樂館 電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
東京小林商會朝鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
廿二日より七日間限り特別大寫眞公開 ▽實寫ユニヴァーサル週報第三十一號 ◎世界的連續寫眞第五『紫の覆面』（第九篇第十篇）米國ユニヴァーサル會社特作 ◎米國探偵界の怪異？ 『人情活劇『無言の價値』（全五卷）ニエレン、ドロシー、フイリツプ嬢 [illegible] ▲東京小林商會特作◎社會劇『血染の壁』（淺草情話、全四卷）大正五年十月二十八日東京淺草に起りし悲惨の事實を脚色せるものにて昨年十一月淺草みくにに座に封切せらるゝや三十日間大入滿員を續けたる空前のフイルム [illegible]（小堀誠）淺草歌妓秋の家菊代（市川菊子）[illegible]

黃金館 電話二六三七 六五二
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
魔術大博士松旭齊天一總員六十餘名 ▲二十二日より七日間限り毎日午後六時開演 ▲世界的大魔術師松旭齊天一は襲ぎ天覧の光榮に落し第三回渡米研究 ▲最も鮮かなる妙技を演す ▲モスコーオペラ座專屬露國明女優一行 ▲大魔術懸賞奇妙の鐵箱を發見者には賞價百圓の金時計は京城本町織居商店に陳列しあり ▲觀覽料特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等三十錢 軍人學生小供半額 ▲二十四日の日曜日に晝夜二回開演

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　**富の道しるべ**　價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

祝觀火大會
京城本町三丁目
食料品商 森川商店
電話九三五番

祝觀火大會
京城醫師會

祝觀火大會
京城明治町一丁目
小林藤右衛門
電話六五五番

祝觀火大會
京城本町一丁目
古川鑛業所
電話二五六六番

祝觀火大會
京城本町二丁目
森啓商店
電話四三〇番

祝觀火大會
日本石油株式會社朝鮮特約店
石油 諸油商
京城明治町一丁目五六
山野商店
電話三八八番（電略ヤ）
振替口座京城八三三番

ビールの眞味を解する方は
擧つて本品を愛飲せらる
サクラビール

謹告
一金五百圓也 被保險者 朝光トヨ
右は大正四年七月日清生命保險株式會社と生命保險契約致居候處今回死亡致候に付ては頭書の保險金迅速に交付相成正に受領仕候茲に同會社の堅實にして支拂の敏速なる事並に生命保險の人生に最も必要なる事を謹告候也
大正六年六月二十二日
黃海道沙里院
遺族 朝光壽三郎

◎訂正廣告
今朝一面日本麥酒株式會社『誰方が幸運でせう』廣告欄内打揚花火『午前七時過ぎより』は『午後七時過ぎ』の誤りに付訂正す
大日本麥酒株式會社

祝觀花大會
朝鮮公論社
日本電報通信社
京城太平町 電話一七〇番

祝觀火大會
醬油釀造元 京城岡崎町（電話九三〇番）
漬物問屋 島屋本店
味噌製造元 京城北米倉町（電話二三三〇番）
島屋販賣部

山下紅療法
今般本療法にて奇効を得られたる古城菅堂氏等の勸誘により左記個所にて臨時出張施術の求めに應ず
適症 腦病、慢性胃腸病、脚氣、神經痛リウマチス、婦人病、肛門病
期日 六月廿一日より向三十日間
場所 京城本町二丁目京城バサー（勸商場）樓上（電話二一五一番）
東京山下紅療院別府分院
主任 中村節

…社長の名を以て見舞の電報を發せり同地の舞踊士安武千代吉氏に依頼せりと（釜山）

●娼妓斷りの公判　呪はれたる女の運命を題し本紙に記載せる生田むめ事釜山緑町遊廓七福樓の娼妓お多福

◎朝鮮美術同好會例會　朝鮮美術同好會にては二十四日午前八時より

●連絡船上陸客　六月廿二日午前八時三十五分釜山入港新羅丸
一二等客
一等（八名）米國人ウーナー、コノダー、露國人[illegible]正華、百木三郎、吉村鐵太郎、小野ひで、同秋光[illegible]同辰千、中本しと、安部榮太郎、[illegible]六、竹内長一、増本茂三郎、井原[illegible]、同かつ、同きみ、同きわ、同澄子、同速[illegible]、本ちせ、新正すて、二宮[illegible]、宮本岩吉、露國人エレスキー、同アノラー、同グレーキリテンスキー、アレキサンドル、同ボローホー、同デベナー、同ドベナ
（行南）[illegible]二等（二十名）吉村鐵雄、[illegible]吉田[illegible]、同榮子、吉井よし、同英一、笠川[illegible]、二千田久太郎、高木正枝、松原源[illegible]、西村市助、堀榮太郎、久米寛二、前川[illegible]、人レヌデンホーン、同モスホザフー、[illegible]ン、米人シヤーマン▲三等（五十四名）

[illegible]
△一口噺「[illegible]」同廿五日　同廿六日
△下句付「云ひ出した」同廿六日　同廿七日
△[illegible]　同廿七日　同廿八日
△俳[illegible]「土產」　同廿八日　同廿九日
△川柳「[illegible]」　同廿九日　同卅日
◎京城櫻井町たけし、群山ウイエムの兩氏至急住所姓名知せ下されたし（係）

…表後一週間以內に謝絵又は同案發見…告者には五十錢書籍券を呈す、但…何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

豫報

▲京城温度　六月廿三日正午 京城華氏八十四度二分 同所攝氏二十八度 前日中最高温度 華氏九十二度三分 同攝氏三十三度五分
（[illegible]）
[illegible]

明君道中記

第百八十五席　田邊南龍口演

遠州濱松は徳川家康公が永らく御在城になつた所で、東海道筋にては駿府に繼いで繁華な所でございます遠州濱松は廣いやうで狹まい横に車が二挺立ねと云ふが是は間違ひで、何程濱松の往來が狹いからと申して車が二挺列んで通行の出來ないやうな事はございません濱松が燒けてより廓が立なくなりましたから遠州濱松は廣いやうで狹まい燒けて廓が二度立ぬと申したものださうでその濱松驛へおかゝりなすつた松平長七郎主

從、木鼠三次に一本刀を佩さして物持ちをいたし是を召連れ恰度晝少しく過ぎ、宿中の松見屋と云ふ飲食店に入り長七郎は三次の話を聞き乍ら御酒を召上つて居ると表より入つて參りました一人の出家、身丈は六尺有餘もあり眼の鋭い見るからに嚴丈さう、鼠木綿の衣類に丸ぐけの帶を締め頸部に珠數手には鐵の禪杖を持つて居ります　出『ハイ御免よ』女『御出家樣被入まし此方へおかけ遊ばせ　出『イヤ、急いで參る故上るも面倒だ、此方で飲んで行う、酒を出してくれ　女『御酒でございますかお肴は何んに致しませう、精進物でございますか　出『イヤ肴を出してくれ　女『御出家でお肴を召上りますか　出『悟りを聞いた坊主であるから肴でも何んでも食す、彼の向ふに釣してあるお仲間をくんな　女『お仲間とは　出『鮹の事だ俺の方では鮹の事をお仲間と云ふ　女『妙な附調でございますね　出『まだある、鰻の事を傘と云ひ鮑の事を伏せ金、鰈の事を拳固、鶏卵の事を五所車なぞと云つていろ〱附調があるぞ　女『オヤ然うでございますか、御酒は一本附けますか　出『一升附けてくれ、大きな湯呑が宜い、跡一升代りだ　女『オヤマア大層召上りますね　出『此位は何んでもない、ウンと飲む時は五六升遣る、女は肝を潰して居りました、間もなく女が持つて參りました酒肴、坊主は大安座でガブ〱〱呑み始めました是を最前より見て居りました木鼠三次が　三『アレ御前御覽なさい、大きな坊主が來て酒を飲んで居りますが宛然水滸殿の魯智深の樣な坊主でございますね　長『成程、強さうな僧しやな　宅『一癖あるべき面體、尋常な者ではございますまい』話し合つて居ると遽に表が騷がしくなりましてワイ〱と云ふ聲、十六五人が松見屋の店先に參つて　○『ヤアー皆來い、先刻の坊主は此所に居た　○『引ツ出して打つて遣れ』と得物〱を持つて入つて參ります彼の坊主は是を見まして　出『イヤ引出して俺を打擲すると、此奴等は俺が強い事を知らねわか、片端より撲殺してくれるからさう思へ」禪杖を取つて坊主が表へ飛出した大勢を相手に禪杖を振つて打合を始めた樣子長七郎は是を見て表へ飛出し間に入つて左右に押分け　長『コレ双方共に餓れ予が扱つて遣はす』左右へ止めました時に大勢の中より一人それに出まして　○『是は御武家樣有難うございますが、此の坊主を打据ゑて引縛り御役所へ差出さうと思ふのでございます　長『何か惡い事でも致したか　○『ヘエー亂暴を働きまして　長『何亂暴を働いたと何ういふ事を致したのだ　○『此の先に松河與膳と申します劍術の先生の道場がございます　長『ウン　○『その道場に參りまして道場荒しをいたしまして表の招牌を引外して出る所もありませうに武者窓を打毀してそれから飛出しました　長『イヤそれは亂暴な事だ　○『松河先生は道場へ打倒され御馳走をしないと云つて此の亂暴を働いたのでございます、然して此處へ參りました故私共が町内の交誼で此の坊主を引立てやうと思ひました　長『イヤ成程お前達の怒るも無理はない、然し身共が扱ふ故茲は一先勘辨をして遣はせ茲に長七郎が扱ひまするが如何落著いたしますか

補血強壯増進の第一
純すっぽんソップ
毎朝御進達致します（當番試驗所一合八錢）
京城西小門町　電話六六三番　横松舘

花柳病
皮膚病
京城府明治町二ノ三二（元貸業會社跡）
須古醫院
電話二一〇二番

曆

六月二十五日
舊五月七日戊戌
本命二黒坤定大安

▲二黒● 住居地の事有る日新事見合東方は吉路　▲三碧● 强硬の事有る日新事手控宜し は吉 約事九防がるべし　▲四緑● だまされ損の事有る日新事手控宜しは吉 買物に用心せらるべし　▲五黄● 頼まれ難儀の事有る日新事手控宜し 調子よき日は吉一切のせわ事を慎す　▲六白● 居開業入門名弘米職命作婚禮女子の物の指南等吉 ▲七赤● 奥床敷日轉居行商等皆吉女子の技藝により立身な致す大切の日也　▲八白● 當てにならぬ事有る日新事手控宜しは吉人に物を托せぬがよし　▲九紫● 大効を顯す日轉居入門命名弘米職婚縁入組の和を計る等皆吉　▲一白● 不得要領の事有る日新事手控宜しは吉一切の賭事を禁す

宮内省御用達
最上清酢
登録商標
MARUKAN
品質及醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油（株式會社）京城出張所
電話二四五番

月やく
りん病
なきにお困りの方は郵券参錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
消渇で困る方切手三錢送れ
京城黄金町三丁目　山田しづね
多年の慢性も自宅で安全秘密に治す良藥の自宅治療書を無代進呈す
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

髪は手入
髪の良き人には愈良く惡き人は一度で忽ち漆の黒さとする
植物性美毛劑加味
ホーカー美髪液
△國產純良の髯油を以て特製したる佳品にして、毛髪の色艶發育をよくし、ダセ毛を直し、頭垢を去り香ひ雅にして從來一品もなき優良美毛香油
定價　徳用瓶卅五錢　小瓶廿錢（送料内地當店負擔、滿鮮卅錢）
ホーカー液本舗　東京和泉橋　柳屋　越嘉太郎商店　振替東京一五六
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

皮膚病藥
ホシセプチン
定價金十錢
▲いんきん
▲たむし、しつ
▲ひぜん、毛虱
△しらくも
東京南傳馬町三　星製藥株式會社
各地特約店及賣店にあり

キカヌ藥は無代でもイラヌ
妾の持藥は
靈藥　中將湯
血の道　子宮病　こしけ
本劑に對する全國大醫の實驗證明數多ある中に佐伯醫學博士の如きは「世界に知られたる藥品中に其の比を見ず」と謂はる。實に本劑の靈妙作用は世界に誇る可き日本藥劑界の權威なり
婦人衛生手引　御申込次第無代進呈（但要郵券二錢）

○主治効能
子宮病　内膜炎　こしけ　氣ふさぎ　夜眠れず　逆上頭痛　難産流産　つはり　月經不順
血の道　腹加答兒　下腹痛み　癪痛ぶり　背肩こり　腰足冷込　産前産後　血ぶとり　經期腹痛
婦人神經　白帶赤帶　胸先差込

定價

二日分	廿錢
四日分	三十五錢
一週分	六十錢
二週分	一圓十錢
三週分	一圓六十錢
五週分	二圓五十錢

●加減藥あり症状詳しく申込まれよ

一週分	七十五錢
四週分	二圓五十錢

本舗　東京市日本橋區通四丁目　津村順天堂本店　振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町　津村順天堂支店　振替口座五四六番

銚子港　田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
代理店
京城明治町一丁目
灘正宗發賣元　山邑京城支店
電話八四九番　振替貯金京城二五番

京城日報 第三版

六月廿四日 (夕刊と合せて八頁)

社會改良の一 京城講
京城に於ける不良青少年の救治
具然壽

世の中の事物は一見頗る亂雜の如くありても仔細に觀察する時は其の間に自ら一定の理法の行はれつゝあることを發見する。社會の改良とか進歩とかを圖るには此理法に反せず、寧ろ進んで此理法に適應し此の理法を利用して行かなければ十二分の效果を收めることは出來ない。然らざるに於ては或は一時的の目的は達し得るかも知れぬけれども永久不動の狀態に導くことは出來ない。その理由は自然に反し、人爲的となり、不知不識の間に無理が行はれるからである。例へば一室の掃除を行ふと假定するに、先以て塵埃を拂拭し不用品を取除き、然る後に始めて必要品を整頓按配する順序を踏ねばならぬのである。何物を以て不用品となし、何物を以て必要品となすかは當初に於て其大體を定めて取懸らねばならぬ。此順序を誤る時は掃除の目的を達し得ざるのみならず却て室內の亂雜を助成する結果に陷るの虞ありといふべきである。此順序といふものが取りも直さず自然の理法である。予輩は警察官の立場として社會の事物に對し、自由の言論、忌憚なき批評を試むる自由を有せぬ。併し乍ら最近數年間に於て京城を中心とし地方都邑に於ける社會生活狀態の改良され、進歩したる有樣を見る時は僅々數年間の事とは申ながら殆んど隔世の感あるを覺ゆるのである。第一に感ずるのは市街の整頓である。第二は衞生施設の行渡つたことである。此等の外觀的の改善が各個人の家庭的生活に善影響を直接間接に及ぼしつゝあることは申すまでもない。即ち塵埃の捨場を一定し、下水溝を通じ、排泄物の始末に注意するといふ樣な潤澤なる生活を營むに至つたことは全く其影響といはねばならぬ。其此所に至らしめた當局者の努力は今更申迄もないことである。然るに一方に於て此種施設が年と共に進歩し改良されつゝあるに反して、他方に於て不良分子殊に不良青少年が社會に現はれ其言動が社會の良風善俗を傷け、延いては社會の安寧秩序を亂さんとするものあるは遺憾千萬の次第である。殊に京城に於て甚だしきを見るのである。多くの文明國に於ても都會生活漸く頻雜を加ふるに從ひ幾多の腐敗分子が釀成されて社會に害毒を流しつゝあることは其例に乏しくないのであるが、今日の京城の如く進歩といふも之を內地の大都會若くは歐米の大都市に於けるが如きに比較する時は未だ其足下にも及び得ざる狀態に在りて、早く既に不良分子の出現を見るは同愛の士と共に大に攻究を要する點ではあるまいかと思ふのである。此問題に關して予輩は多少心に浮んだ點を述べて見たいと思ふ。第一に予輩の考慮を要するは不良分子は今日始めて社會に跳出したるものなりや否やの問題である。此數年來社會各般の進歩に伴れて形而上に於ても形而下に於ても善惡兩樣の影響を齎りたるは言を俟たざる處である。其徒に珍奇なる事物の惡感化に依りて輕薄なる徒輩が不良なる傾向を持つに至つたことは不良分子輩出の重なる原因であるけれども、之と同時に看過す可らざるは社會の狀態漸く進歩するに伴れて從來混亂の裡に包まれたる不良分子が、恰も雲霧晴て山容露現した樣な風に、際立ちて目に附くに至つたことである。即ち既に存在したものが社會狀態の整頓せる結果著しく目立つ樣になつたとである。勿論原因を單一に限ることは出來ない。併し乍ら大凡原因は那邊に伏在して居るかを突止めて置くことは社會改良の實を擧ぐるの上に於て緊要事であらうと思ふ。警察當局に於ても不良分子中の殊に不良青少年に對しては之が取締及び感化に就いて絶わず方法を講じ進んで絶滅を期して居る。されど限りある警察當局の人手と經費とを以て、社會の安寧秩序を保持する爲に任務の頗る廣汎なる警察當局のみを以てして、限り無く湧き出ずる不良青少年の徒を悉く取締り絶滅を期せんとするは至難のことである。此等の感化事業の如きに對しては、世の志士仁人に訴へて慈善的に不良青少年の感化事業を起して貰ひたいと思ふ。若し警察當局の努力と志士仁人の慈善事業と兩々相待つて同一目的に進むことが出來たならば社會改良の目的の如きも比較的容易に達し得はせぬかと思はれる。されど予輩をして更に一歩を進めて最も適切有效なる不良青少年絶滅の一策を語らしむるならば、大に事業を起し無職業の青少年を無からしむることである。小人閑居すれば不善を爲す。要は彼等をして閑居せしめざるに在り。事業とはいへ必ずしも大規模大資本たるを要せぬ。朝鮮人の日常生活に必要なる簡單なる雜貨工業の類が最も適當ではあるまいか。予輩は起業等に關しては全然門外漢であるけれども、若し事業經營の經驗ある實業家にして社會の爲めに貢獻せんとする志を有して此種事業を計畫すれば、事業の利益と社會の公益と併せ收むることが出來ると思ふのである。聞く所に依れば工業傳習所の卒業生の如きも卒業後就職すべき工場の少ない爲めに立派な技術を有しながら空しく方面違ひの銀行會社等に雇傭されつゝあるもの甚だ尠からずといふことである。此等の卒業生を以て一般市中より募集せる職工の間に配し、其模範とし指導者とし監督者として働かせて行つたならば頗る容易に効果を擧げ得るであらうと思ふ。それに就きても一般の朝鮮人社會に普及せねばならぬのは職業の神聖、勞作の愉快といふことである。朝鮮人間に勞作を賤む傾向が最近著しく減退の徵あるは各方面に於ける人員募集に對して應募者の激增せるを見ても推知することが出來るのであるが、富力の增進が國家としても個人としても幸福の第一要件たる勞作の觀念を自然の趨向に放任して其進歩を待つといふは如何にも手温いことであるから吾人は各方面から之が促進の道を講せねばならぬと思ふのである。大に事業が起り一般の朝鮮人が職業の神聖にして勞作の愉快なることを感じ、社會が職を求むるに至つたならば不良の徒が善良の子弟を誘惑する機會も減じ、從つて不良の徒も亦其數を減じ、社會の良風善俗を傷けらるゝこと稀れとなるであらうと思ふ。

隣邦を奈何(十二)
強壓と無遠慮
…對支國策を確立せよ
中島生

支那の事とさへ言へば、何事に依らず、多寡を括つて掛かる風が、日本人には多い。國際間でも、個人間でも樹して然り。歐米諸ろの國及び國民に對しては、當然遠慮して居る事も、支那及び其人民に對しては平氣で言つたり、爲たりして居る。從來の爲來りが、蹂躙で强壓的であつた。何歟と云ふと、直ぐに手を捻ぢ上げて、貴樣は不埒だと云ふ態度に出でる。さうかと思ふと、又奇妙に優しく出る事もある。お前とは無二の親友だと云つて手を握つて置いて足の方では蹴飛ばすやうな事もある。眞實の同情と云ふものが無いから、先方でも宜い加減にして、煮えたか沸いたか判らぬ態度を執つて來る。新聞の論調などに至つては、全く以て沙汰の限りなものもある。支那問題と云へば、勝手放題、無遠慮至極の批評を爲して顧みない。單に支那關係のみと限らず、外交問題について、日本の新聞の態度は、往々にして對手國に對して、激烈過ぎるばかりでなく、自國の政府當局の遣り方に對しても、無遠慮に責め過ぎる傾がある。政府の非は之を責むるに遠慮は要らぬが、輕卒に素つ破抜いては、藪蛇になる事もある、併かし又政府當局の外交方針も餘り秘密主義に流れると、其間に誤解が生じて國民の輿論が突走る事になりやすい。外交問題については、論難攻擊の極端に露骨にならぬやうにして、政府者と國民とが、双互に充分了解の上に立つて、國家の利害休戚に關する大事を處理したいものである。殊に對支政策に至つて、切に之を感ずるのである。此度新たに出來た臨時外交調査會などは、其趣旨に於て擧國一致の外交策を樹てると云ふのだから、時宜に適した制度と思はれるのであるが、二政黨を代表する、原とか犬養とか云ふ人が、果して眞に政黨の利害を離れても、專心一意國策の樹立に沒頭するを得るか否か、余輩には疑問である。犬養なんて云ふ人の支那に關する見識がどれ程のものであるか、彼れは一廉の支那通を以て自ら任じて居るやうであるが未だ吾人は彼れが、吾人の以て今後彼の意見、政策が、どれ程の周到精緻、眞に經世家の至論と認むべき意見を吐いた事を知らぬ。果して效果を對支政策の上に現はすかは、疑し見ものである。彼れが一身の毀譽を犧牲にしても、國家に盡さむとする心事を公言せるに見て、特に彼れ犬養氏を特に茲に引つ張り出したのである。我衆議院の議員中にも相當に支那通が居る樣であるが、所謂支那浪人組とか又は浪人に毛の生えた位のものが、大言壯語して支那通を振り廻すやうでは、日本は不幸だ。今日は隣邦贊成の必要を感ずるの時である。日本の衆議院議員たらんとする爲めに要する資金は總じて殖ねて來て居る。彼等の貨幣換算價格は騰貴して居る。而して彼等の政治家たる資格の水準線は却つて低下して居るとも見られる。政黨なんて云ふものゝ、主義とか綱領とか云ふものは迚も眞面目には受取れない。外交問題の如きも、政黨の驅引きや、便宜主義で傾重輕議されては堪らない。對支國策を定めるに當りては、最も議員連中の公正無私なる、愛國心に俟たなければならぬ。

日本の實業家も、支那に對しては今少しく我利々々根性を慎んで欲しいのである。支那は何としても、日本商品の最大華客である。然るに支那を歩いて、痛切に感じたのは、日本品の粗製濫造と云ふ事である。贋物が多くて、支那人の日本商品に對する氣受けが頗る惡いと云ふ事である。他に重要な精良な品が輸出されて居ても、小雜貨類にでも粗惡なものがあれば、それが全體の信用に影響を及ぼす事になる。動ともすれば日本品のボイコットが起りやすい支那に對しては、最も商業道德に注意を要すると思ふ。支那人は勘定高い人間であるから、良品を廉價に供給して、而して數量でこなしての利益を目的とする事が上策である。支那に關聯して日本の實業界に對する不平はいろ〳〵あるが就中關稅引上問題に對する紡績業者の態度は、彼れは全體何たる態度であるか。

▲依然伸騰む [illegible]
▲天候不順 [illegible]
▲休日越如何 [illegible]

皮革製造販賣
牛皮 羊皮 高價買入
京釜線大田 大田皮革株式會社 電話長一三四番 電略(タヒ)

移轉と分院開設
明治町佛蘭西教會坂下(際町入口) ドクトル 女醫 中村齒科醫院 (電話一五八三番)
黄金町二丁目 中村齒科分院 (電話一八九番)

祝觀火大會成功
(いろは順)
辯護士 大久保雅彦 京城旭町一丁目 電話八三九番
辯護士 中村時章 京城黄金町一丁目 電話六三一番
辯護士 安住時太郎 京城仁寺洞一三六番地 電話六八二番
辯護士 朝倉外茂鐵 京城西小門町 電話一六二八番
辯護士 木尾虎之助 京城三角町七一番地 電話三七五番

博文館創業三十周年記念
日本と世界
太陽特別增刊
▽維新五十年漫畫史……小川千甕
▽一種の戰爭觀 京都大學助教授 野上俊夫
■波斯灣問題の過去と將來 法學博士 長岡春一
■日英同盟の形勢 エル、エル、ビー 米田實
▽交戰各國戰害の回復力如何 主計中監 佐伯敬一郎
▽戰爭の倫理觀 文學博士 藤井健治郎
■獨逸文化の世界的影響 文學博士 朝永三十郎
■大戰と歐洲文化 文學博士 桑木嚴翼
▽開戰以來の歐洲戰爭の經過 參謀本部々員 步兵大尉 濱田豐城
▽歐洲列强經濟戰の趨勢と日本の地位及對策 法學博士 神戸正雄
■戰時並に戰後に於ける諸國の經濟策 法學博士 河津暹
■戰後經濟戰の趨勢と其對策 法學博士 小林丑三郎
▽戰後の商戰に對する施設に就て……男爵 牧野伸顯
▽產業振興に關する私見 工學博士 加茂正雄
■戰後の社會運動と婦人運動 京都大學助教授 河田嗣郎
■人口上に於ける日本の地位 內閣統計官 二階堂保則
特別長編小說 烈日の下に(誌上九十頁に上る大傑作)…正宗白鳥
■戰後の佛國の地位と日佛關係の前途 法學博士 蜷川新
■大戰亂と獨逸帝國の運命 元獨逸總領事 奥田竹松
▽戰後の獨逸と日獨の新關係 法學博士 千賀鶴太郎
▽日、米關係改善策……子爵 金子堅太郎
■世界大戰亂の史的觀察と我が國民將來の覺悟 文學博士 箕作元八
■大統領ウヰルソンと外交上の大革命 法學博士 浮田和民
▽戰後の中歐同盟と日英同盟 外務省參事官 木村銳市
▽墺匈國の現狀と戰後の豫想 元墺匈國大使館一等書記官 奥田竹松
■日支親善の根本義 文學博士 澤柳政太郎
■巴爾幹問題の將來 ドクトル、オブ、フイロソフイー 長瀬鳳輔
▽戰後の銃砲 砲兵大佐 筑松習吉
▽最新兵器及將來の兵器 海軍中佐 日高謹爾
■海上武力の兩面觀……某將軍
■空軍大臣新設論 法學博士 松波仁一郎
▽戰後に於ける帝國の國防……某將軍
▽航空機の過去と未來 理學博士 田中館愛橘
地圖 (一)世界に於ける日本の地位 (二)江戸時代と大正との日本 (三)歐羅巴現勢地圖…(大判) (四)最近戰局大觀圖…(大判) 何れも專門技師の苦心立案に成り精密を極む
誌界空前の偉觀を極め大家の代表的研究と論策とを此一冊に集る
量に於て質に於て
本文七百頁・地圖四枚 口繪五葉・寫眞版卅四頁
□六月十五日發行□ 定價金一圓 本號特別大 郵稅七錢五厘
東京日本橋本町・振替東京二〇 博文館發行

花菖蒲御案內
御待兼の數千株の花菖蒲は今を盛りと咲き初め候へば例年の通り三十錢以上の一鉢物御買上げの御方へは切花を呈し猶一株十五錢以上にて大勉强仕り候
新龍山鐵道公園東側 電車終點より東約一丁半 丸山彩花園 謹白

愈々腕卷時計シーズン來る
特別賣出値段
◎ニッケル側 四圓五十錢以上
◎銀側 六圓以上
◎十八金側 三十圓以上
▲地方御註文向は代金引換小包料十七錢 書留小包料十二錢
京城本町 村木時計舖 電話長四七一番 振替京城三一九〇番
寒暖計各種

蚊帳荷著
最安時期仕入格安提供
龍山元町 こまや植西吳服店 電話四二八番

京日案內
普通一回前金五十錢 番外一回前金一圓(既名[illegible])
▲申込後中途解約又は中止の節は前金返還せず ▲六回以上の申込は特に割引す ▲御照會の節は必ず返信料御封入あらんことを乞ふ
北米倉町百六番地家屋専用水道附敷地百十五坪賣却す希望の方は同所山川へ來談又は照會あり度し 178
朝鮮特產すだれ御賣小取次 京城黄金町三丁目 電話二九四九 荒井珠簾製造元賣店 186
有給男女研員募集希望者は午前中來談あれ 京城本町二丁目八六 シンガミシン裁縫會社本町分店 183
新古樂器類 賣買と修繕 電三五七 本町 ウツボヤ書店 振三三 124
番外
◎礦物定量分拆 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長二三四四 坂元分拆所 164
◎內科◎小兒科 京城明治町 電話一〇五四番 女醫 川崎朋子 169
繭絲高價買入 南海繭絲商會 龍山驛前出張所 180
石版に經驗ある外交員採用 京城櫻井町 戸部印刷所 182
石版書工募集 京城櫻井町 戸部印刷所 181
恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町(大正館向)元祖 博多屋本店 104

第卅九回特別帝國議會

▲議會開院式

天皇陛下には豫て仰出されたる如く二十三日第三十九帝國議會開院式御擧行の爲め貴族院に行幸遊ばされたり當日 陛下には第一公式鹵簿により午前十時半宮城御出門鷹司侍從長御陪乘朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王兩殿下を始め奉り波多野宮相、內山侍從武官長、戸田式部長官、石原宮內次官、澁谷主馬頭、片山侍醫頭、杉宮內書記官其他供奉近衞兵二箇中隊の儀仗警衞に依り鹵簿粛々御順路を經て

▲同四十五分貴族院表門より同院に行幸

あらせらる是より先き吉田、稻葉以下各式部官は便殿の設備其他の準備を整へ大岡衆議院議長、黑田、濱田兩院副議長柳田寺田兩院書記官長以下各書記官は門內に整列御著輦を奉迎し徳川貴族院議長並に先著の侍從は聖駕の御車寄に著御あらせらるゝを待ちて御先導申上げ便殿に誘導し奉るや御先著の伏見若宮博恭王殿下並に外國大公使、寺內首相以下各國務大臣、平田牧野其他臨時外交調査會委員、淸浦樞密院副議長以下各顧問其他文武官は式部官の誘導にて御前に進み謁見仰付られ引續き貴衆兩院議員は徳川、大岡兩議長に導かれて式場に整列し臨幸を待ち奉る斯くて 陛下には午前十一時戸田式部長官の奉請に依り各皇族殿下並に供奉諸官を隨へ

▲式場に臨御正面玉座に著かせ給ふ

其右には朝香宮東久邇宮兩殿下を始め奉り波多野宮相以下供奉員左には御先著の皇族各國務大臣等侍立す 陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位菊花章頸飾及び功一級の大綬章を始め數多の勳章を御佩用遊ばされ皇族及び文武百官貴族院側の燦然たる大禮服目も綺なるに衆議院側の瀟洒たる燕尾服は劃然色彩を異にし壯觀を極む此時式場は粛として水を打ちたるが如く崇嚴の氣滿つ軈て寺內首相は下條內閣書記官の捧持せる勅語を拜受し鞠躬如として階を上り之を 陛下に捧呈するや 陛下には玉音朗かに左の勅語を下し賜ふ

勅語

朕茲ニ帝國議會開院式ヲ行ヒ貴族院及ビ衆議院ノ各員ニ告グ

朕ハ國務大臣ニ命ジテ緊要ナル追加豫算案及ビ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑒ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

誌つて徳川議長は勅語書を拜受し舊位に復するや 陛下には戸田式部長官の御先導にて各供奉員を隨へさせられ十一時二十五分兩院議長の奉送を受けさせ給ひつゝ龍顏麗はしく還幸遊ばされたり(東京特電)

▲下院奉答文

衆議院は二十三日開院式終了後午前十時二十五分より開會、大岡議長は奉答文に關し議事を開く旨を宣し恒例により起草委員に附託すべく其の指命を議長に一任せられ度しと述べ元田肇氏以下を委員に擧げ委員は別室にて奉答文案を審議し終つて元田氏は起草委員長として謹嚴なる口調を以て委員會の經過を報告し文案を朗讀し滿場一致起立して敬意を表して贊成し大岡議長は奉答文は宮中の御都合を伺ひ捧呈すべしと告げ廿五日の議事日程を報告せしめ十一時五十分散會せるが奉答文案左の如し(東京特電)

恭シク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第三十九回開院式ヲ擧ゲ優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪ヘズ臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ヒンコトヲ期ス

衆議院議長臣大岡育造誠恐誠惶謹ミテ奏ス

▲政府提出案 兩院に對し

二十三日貴族院に提出せられたる政府案左の如し(東京特電)

一、阿片法中改正法律案
一、銃砲火藥類取締法中改正法律案
一、日本勸業銀行法中改正法律案
一、農工銀行法中改正法律案
一、北海道拓殖銀行法中改正法律案
一、產業組合法中改正法律案
一、工業所有權戰事法案

次に二十三日衆議院に提出されたる法律案左の如し(東京特電)

一、朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案
一、輕便鐵道補助法中改正法律案
一、借入鐵道及び輕便鐵道の買收に關する法律案
一、軍事救護法案
一、東洋拓殖株式會社法中改正法律案
一、北海道拓殖鐵道建設費支出に關する法律案
一、朝鮮事業公債法中改正法律案
一、臨時國庫證券收入金特別會計法案
一、臨時國庫證券法案
一、日本興業銀行法中改正法律案
一、電話事業公債法案
一、大正五年法律第四號中改正法律案(臨時事件經費支出に關する件)
一、軍人恩給法中改正法律案
一、裁判所設定に關する法律案
一、大正二年法律第九號中改正法律案
一、東京帝國大學及び京都帝國大學臨時政府支出金に關する法律案
一、學校內圖書館特別會計資金の一部を一般會計に繰入るゝ件に關する法律案
一、農業倉庫事業法案
一、蠶絲業中改正法律案
一、製鐵業奬勵法案
一、戰時海上再保險法案
一、造船奬勵金下附停止に關する法律案

▲兩院日程

貴族院及び衆議院の二十五日における議事日程左の如し但し衆議院は全院委員選擧、常任委員選擧の二項のみなり(東京特電)

一、勅語奉答文議事
一、全院委員選擧
一、常任委員選擧

◎併鐵形式

鮮滿鐵道併合統一案は別電の如く今期議會に朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案として提出せられたるが右は本會計廢止の際現存する現金は總て朝鮮總督特別會計の歲入に繰入れ朝鮮總督府の管理する鐵道は之を南滿洲鐵道會社に委任經營せしむる事となり依つて本案を提出する所以なりと(東京特電)

◎東拓本社を東京に移置 十月一日より實行か

第三十七議會に於て大隈內閣が東洋拓殖株式會社法中改正法律案を提出したる際憲政會は終に審議する事なくして全く握り潰しとなしたるが現內閣は今期議會に對し改めて該法律案を提出せり而して東拓本社を東京市に置く事となしたるは注目に値すべく議會の協贊を經ば本年十月一日より實行すべしと(東京特電)

◎村田博士の光榮

前鴨綠江採木公司理事長村田林學博士在任中の功勞を思召され二十三日左の通り金盃御下賜の御沙汰ありたり(東京特電)

正四位勳三等林學博士 村田重治
金盃一個を賜ふ

◎獨軍の士氣大に沮喪

[illegible]その士氣は最近大[illegible]なからず將校は兵卒の損害を少數ならしむべき訓令を受け居れりと(倫敦電報)

◎張勳林公使訪問

張勳氏は二十一日午前林公使を訪問し約一時間に亙り時局に就き會談す

灤州に駐屯せし張督軍の一箇旅團は獨立取消と共に召還され二十三日全部奉天に歸著せり又馮麟閣氏の出兵せし一箇旅團も同日中に廣寧に歸還する筈なり(奉天特電)

[illegible]二十三日叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

時に其理由書を發表せり(東京特電)

◎參謀長旅團長著[illegible] 白水軍參謀長、金久保旅團長の一行は二[illegible]

◎田中次長動靜

南支視察後北京に入り其れより奉天に來れる田中參謀次長は二十二日奉天發同夜大連著一泊二十三日旅順に赴きたるが同地に一泊の上再び大連に引返し視察及び講演を爲し二十六日奉天に出で其れより朝鮮に向ふ豫定なり(大連特電)

◎附加稅徵收額

本年三月末現計に依る大正五年度地方費賦課金徵收狀況左の如し

▲市街地稅附加稅 調定額一萬七千九百二十八圓に對する收入濟額一萬七千八百六十二圓にして未濟額は五十圓に過ぎず其の收入步合九割九分六厘を算せり
▲地稅附加稅 調定額五十二萬九千七百五圓に對する收入濟額五十二萬千三十八圓にして未濟額八千六百六十八圓あり其の收入步合九割八分三厘なり
▲市場稅 調定額二十四萬四百七十一圓に對する收入濟額二十二萬六千三百四十八圓にして一萬四千百二十三圓の未收入額あり收入步合九割四分二厘なりとす
▲屠場稅 調査額五十一萬五千百八十圓に對する收入濟額四十九萬三千百二十八圓にして二萬一千七百八十圓の未收入額を算し其收入步合九割五分七厘とす
▲屠畜稅 調定額五萬三千七百二十五圓にして五萬三千六百二十圓の收入濟額あり未收入額百五圓に止まり其の收入步合九割九分八厘に達せり
▲合計 前記諸稅の總調定額百三十六萬五千六百九圓に對する既收入額百三十二萬八百六十五圓其の收入步合九割六步となり四萬四千七百二十八圓の未收入額あり

◎追加豫算と土木事業
第二期治道事業と其計畫=海關工事費追加と仁川、釜山兩港の施設

第二期治道

第一期朝鮮治道事業は愈々本年を以て終了す可く同計畫に依りて既に改修を了せる一二等道路は京城江陵間、安州滿浦鎭間、平壤元山間外三十五線其の延長里程六百八十五里を算し之に併合以前に於て修築せる道路の二百里及國庫の補助を受け地方廳に於て改修せる一二等道路を加れば

▲一千六百里 に達せるが、當局に於ては更に未成一二等道路改修の必要を認め第二期治道事業として總工費七百五十萬圓を本年度以降六個年度に亙りて支出し之を既定の道路修築費に追加す可く本年度割額六十七萬圓を計上したり、而して其の事業計畫は京城義州間、大邱釜山間其の他二十三線總延長四百七十七里の一二等道路を改修し、且つ主要路に對して合計

▲九個の橋梁 を架設せんとするものにして本事業完成せば急を要する主要道路は地方廳支辨の分を加へ一先づ改修濟の運を得べく、其の他は地方の人文並に產業の發達を俟つて更に計畫する處ある可し但し本年度に於て著手す可き改修道路は目下詮考中に屬し未だ決定するに至らず

築港費追加

仁川築港工事は總工費三百九十萬圓を以て明治四十四年度より起工し大正七年度に亙りて三萬坪の復閘式船渠を築造の計畫なるは世人の熟知する處なるが同工事は爾來著々進捗し本年度を以て竣成の運を得るに至れるより次いで第二期工事として大體本年度以降四個年間に亙り百七十五萬圓を計上し既定の海關工事費に追加す可く本年度割額三十五萬圓を要求せり、而して

▲第二期工事 は鐵道の引込其の他陸上の諸施設に遺憾なからしむると共に外港より船渠に至る航路を擴め、又た港內の安全を期するが爲め萬石洞對月尾島間の繩切突堤を築造し、且つ突堤の基部に小防波堤を設けて漁船其他小船の繫留に資す可く、本工事竣成の曉に於ては釜山港と並で鮮內の雙模範港たるを失はざる可し、而して本年度に於ては其の陸上設備及び突堤の一部工事を施す豫定なり

▲釜山港完成 釜山築港は總工費三百八十萬圓を以て明治四十四年度より起工本年度を以て竣立の豫定なるが之れまた工事の進捗極めて順調なり、されど棧橋の完備に伴ひ陸上設備の必要なるより更に總工費四十六萬圓を以て六七兩年度の繼續事業とし本年度に於ては年割額三十二萬圓を計上せり此の工事は第二棧橋に對する鐵道線路の引込並に貨物貯藏倉庫を建設せんとするものにして豫算面には兩年度に跨れるも多分本年度內に於て全部の竣成を見るに至る可し

◎府郡聯合共進會

木浦に於て計畫中本年秋季を期し木浦府務安郡聯合にて開港二十周年記念品評會を開催する事となり夙に府郡に於て協議中なるが該品評會は一面に於て木浦を紹介する意味をも含み殊に二十周年記念の好機會なるを以て民間に於ても能ふ限りの援助を與ふべく目下協議中なり(木浦)

◎立花師團長招宴

立花師團長は二十四日午後七時より淸華亭に京龍各隊首腦者を招待し晩餐會を催すべしと

◎新議員の招宴

京城學校組合會議員一同は府尹事務官其他學校組合に關係を有する府吏員等七名を二十三日午後七時より花月に招待して盛宴を張る

◎鳥取視察團動靜

朝鮮滿洲に於ける港灣改築の狀況及び產業視察の爲め來鮮目下滯京中の鳥取縣境築港調査員同縣財部內務部長一行十名は二十三日午前十時より遞信局、京畿道廳東洋拓殖會社等を歷訪し各關係當局の案內にて夫々視察見學する所あり正午より山縣政務總監の朝鮮ホテル招待會に臨席したり

□重要電報=欄外にあり

南言北語

近時英佛人間に『朝餐政治』と云ふ新熟語が非常に流行して居る▲それは英宰相ロイド、ジョーヂ君が先月英國陸軍の首腦其他を引連て巴里に赴いた▲其れは佛國の當局者と軍國の大事を評決せんが爲であつた▲元來が獨自一己の型で決して人の行つた型をやらず神智靈算湧くが如きロ君の事であるから何氣なく一と朝佛國首相リボー翁參謀總長ペタン將軍等を朝餐に招待し幕僚等と共に食卓を圍んだ▲而してお定まりの燒麵麭とハムと其れに錫倫茶を啜りつゝ四方山の話の末▲引續き徐ろに話頭を進めて遂に此處で軍國大事の機密を旨く雜作なく決著して仕舞つた▲驚いたのは英佛の新聞紙で千古未曾有の出來事だと呼び直に『朝餐政治』と云ふ新熟語が出來た▲所謂天下の大事を朝飯前に形付けた譯で此邊の器量風格は我々に於ては海舟や南州の外には一寸見當らぬ▲何と云つてもロイドジョーヂ君は近世の大政治家だ▲天下の大事と云へば必ず何か云はねば氣の澄ぬ筈の杉山茂丸君が近來沓として其の消息を傳へぬと思つたら▲東京は築地蜜華社樓上で二箇月以來胃潰瘍を病んで居る相な▲流石の豪傑も之れには大分屁古垂れの體だと云ふ▲而も病褥の佛壇には病みたりと雖も彼本來の面目を傷けざるの意氣を示して▲常に無宗教を標榜して居る君にも不拘大勳位公爵より下は待合の女將に至る迄死亡順により百餘の遺牌が祭られてある▲此の由來は一體葬式程人間の虛僞を暴露するものはないから俺れは決して會葬をせず▲此處で夫れ〳〵祭つて居るのだと例の氣焰▲處が此の佛壇を新造した時六百圓かゝつた▲豪傑大に弱つて居る處へ中村是公君が來たので說破して難有涙をこぼさせた上▲旨く六百圓を出さしたとは矢つ張り凄い腕だ

社告

本社主催漢江觀火大會は空前の盛況にて意外の成功を以て終結を告げ社員一同の欣喜措く能はざる所に御座候然るに當夜は何分無數の人出にて非常の混雜を呈したる爲め多々不行屆の點相生じ候事は必然の儀に有之候茲に謹んで大方諸君に陳謝仕候 敬白

大正六年六月二十四日

京城日報社
每日申報社

◉本日朝鮮總督府公文附錄附添

支那の形勢

▲李經羲內閣顏觸

李經羲氏を總理とする內閣は尚一二の反對者あるも一兩日中に成立すべく閣員の顏觸は左の如し

內務總長 錢能訓▲教育總長 蔡儒楷▲交通總長 汪大燮▲農商總長 李盛鐸▲陸軍總長 王士珍(兼任)▲財政總長 李經羲(兼任)

海軍及び外交總長は留任すべく司法總長は尚未定なり(北京特電)

▲李氏各省へ就任通電

二十二日李經羲氏は各省に對し愈々來週より總理に就任する旨を通電せり(北京特電)

▲馮麟閣督軍說立消か

黑龍江省督軍に馮麟閣氏任命說あるも許蘭洲氏は兵權を有し其の地盤牢固なれば中央政府は結局同氏の權擧を默認するの外なかるべく從つて馮麟閣督軍說は立消となるならん(奉天特電)

五絃琵琶教授

五絃琵琶は橘宗家か多年心血を注ぎ大成せられ橘琵琶の奧儀は五絃にありと謂つべく從て之が彈法は直傳の掟なりし處私事先般東上中宗家より五絃教師免狀と法龍山の雅號を授けられ歸京仕候に付き奧傳以上の資格者に限り教授可致此段謹告候也 追て四絃教授は從前の通り

京城南山町三丁目十一番地 五絃琵琶教師 法龍山 東原旭扇

實業之日本

我が社の提議の反響 實業學校へ臨幸奉仰の贊成意見
力の經濟 農、法學博士 新渡戸稻造
教育の罪か 增田社長
南米を視てから 新歸朝者 槇哲
成金黨を論ず 法學博士 天野爲之
外交と經濟との關係 法學博士 神戸正雄
堂々廿四頁の大論文 我社創立廿年記念關西講演會記事
三味線職工より大貿易商となれる立志奮鬪經歷 碧堂生
健腦生活法 醫學博士 山田鐵藏
新聞記者出身の實業家 野村朝堂
我が社の米國派遣小學校長の經歷

六月十五日發行 一冊拾參錢 郵稅壹錢五厘 半年壹圓八拾五錢 東京實業之日本社 振替三二六

社員募集 京城長谷川町五十八番地 帝國公債信託株式會社朝鮮支部 電話四二五三四番 振替口座京城二〇一七

京城西小門町二一番地(舊醫院跡) 田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
[入院隨意]
普通病室隔離病室の設備あり

…の不成功、…米國の參戰…等を了知し居れり普魯西軍は彼等の間に非常に嫌惡せられ又十八歳の少年を使役せる師團も尠からず…する能はず（露都電報）

◎獨飛行機擊退さる

獨逸飛行機は連日リボウ軍港を襲擊しつゝあるが悉く擊退され目的を遂ぐる所ありたり（北京特電）

◎駐屯奉天軍歸還

本社主催 漢江觀火大會

空前の美觀

數千の紅火漣亂河心を染め 五彩の火龍中天に躍りて 歡呼拍手の聲鳴りも止まず

三十萬の全市民が絶大の歡喜を以て待望して居つた漢江の觀火大會は京城日報社及び每日申報社主催の下に豫定の如く二十三日午後八時から開催せられた午後五時を合圖に漢陽公園の上にて打揚たる三發の煙火は

◎**京城市の上空**を襲はして觀火大會開催時刻の近付きたるを報じたり此の合圖を聞きたる市中の人々は大路小路より流の如くに押し出し忽ちにして電車は何れも滿員を告げ辻々に待つ群衆はもどかしがりて徒歩にて急ぐもあり俥を傭ふもあり又は停車場に驅け付けて汽車を待つものもあり京城龍山間の道路はたゞ人の波が『漢江へ漢江へ』と

◎**奔流の渦卷く** 如く押し出して行く!!斯うして集まつて來た群衆は忽ち漢江の兩岸に堤防の如く蜿蜒たる黑衣白衣の人山を築いて開會前に其の數は無慮五萬と註せられた群衆は勿論京城市民許りではない近くは永登浦、仁川、水原、其他鐵道沿線の諸邑から泊りがけで出て來た者も甚だしい數であつた、漢江畔舊龍山電車終點には

◎**本社の招待場** 來賓講待所に連らなり多數のビール店、氷店休憩所等の天幕球燈萬國旗樣々の彩旗に飾られて目も綾に美しく天幕の中よりは嚠喨たる樂の音絶えず江上には無數の船舶華やかに飾られたる中からは鼓、太鼓、笛、三味線或は賑やかなる朝鮮音樂が聞こえて來る、漢江の水面から徐ろに吹いて來る清風は

◎**萬斛の凉を送り** 來て今年の夏の苦熱を此の一宵に消し午後七時三十分からは引續き打ち揚ぐる煙火空中に玉を走らせ煙を吐き或はさまざまの景品を降らして群衆を悦ばせて居るやがて强烈なる太陽は江畔の白砂の果に落ちて薄暮漸く江山を罩むれば幾百の球燈及びアーク燈閃めき出で煙火は頻りに揚つて

◎**紅紫の火を吐き** 十數臺の花電車や其他の電車、俥などが引切りなしに群衆を送て來ては吐き出して行く午后八時三十分夜漸く水上砂上を蔽ふ頃茲に愈々觀火大會は開かれたり打ち見れば上流鐵橋方面の江上に數個の火光水に映じてゆらめきしがやがて其の火は百となり千となり二千三千となり水に隨つて流れ流れのまゝに漂ひ廣がり江水須臾にして

◎**數千の紅火と** なつて燃ゆるかゞその時對岸の沙上に樹て連ねたる五百餘の篝火は一時に熾々と燃え上り其の火焔水に倒映して紅波光瀾激灧として漂漾し其の中より煙火は間斷なく紫火、青火、紅焰、白光を空中に躍らせる流火は愈燃ゑに燃えて船と陸との無數の人々は拍手喝采し歡呼し抃舞して人はたゞ歡樂の夜に醉ふた午後九時三十分頃は

◎**流燈篝火煙火** 球燈幾千萬の火は水波を染め空を焦してネロが奢りの羅馬の火も之れには及ばじと思はれるほどであつた炎の波火の舞踏の中に煙火師鍵屋が技術を盡したる美しき仕掛花火數番あり江岸五萬の群衆は『あゝ綺麗だ!大變の火だ』と云ふ外に稱ゆべき形容すべき言葉がなく

◎**聲を合はせて** 歡呼するばかりであつた斯くて我社主催の大觀火會は何人も豫想し能はざる程の大成功を以て午後十時半無事終りを告げた東京を知つて居る見物人は皆な兩國の川開よりも幾層倍綺麗であるか知れぬと云つて居つた

電車の雜沓（上） 來賓の見物（中） 遊覽船（下）

▲雜觀

何がさて廿三日は端午の節句とて漢江の午後はモウ三四時頃から居形船が浮んでゐた、船の中には妓生の鼓や銅鑼の音が聞えて、舞ふもの唄ふもの非常な賑はひ河畔の人出は夕方頃から未曾有な盛觀である、それに流れを蔽ふた

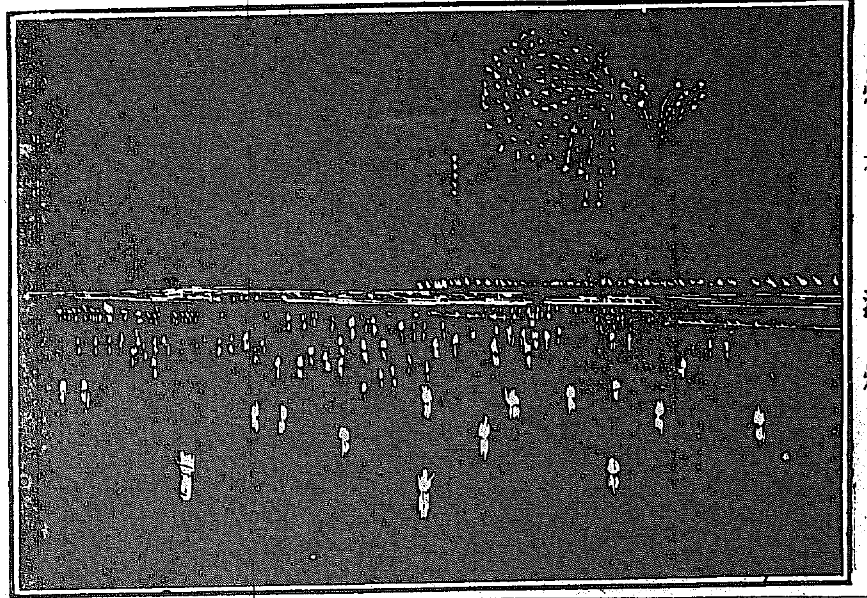
▽**船といふ船** 何れも隈藥提灯に彩旗をひるがへして水色の裳綺の如き妓生の舞ひ姿なども他で見られぬ情趣であつた又それに河心には李王職の發動機船や水上警察のモーターボートが浮んでこれも國旗風をひるがへしてゐる、第一發の煙火は七時廿五分河畔の

▽**河千鳥の群** を驚かしつゝ打ちあげられた、つゞいて三發四發、ポーン／＼と廣い漢江の水の面に響きわたる美しさ、上流の鐵橋下から幔幕の船が幾隻も／＼つゞいて下つて船の舞樂はいよ／＼盛んになる、次いで賑やかな李王職音樂隊の奏樂も始まつた、いよ／＼燈籠の流れ出したのは八時四十分

▽**靜かな河面** をゆら／＼ゆら／＼、二百三百、四百、果ては千とも知れず萬とも知れぬ紅い灯影が恰度水禽の大群のやうにポカリ／＼と浮いて流れる、それに篝火の火が紅く河畔を染めて輝き出したのは八時五十分、廣い漢江の河の面に燈籠と篝火の美しさ、水も河原も眞紅に染めた美しさ

▽**數萬の群集** は只火に染めた河面の壯觀に詠嘆するばかりであつた、煙火は引つきりなしに打ちあげられた、それにサツポロビールやキリンビールの仕掛煙火もシユツ／＼と舞ひながら紅、白、黄と輝き出す下流にはまた屋形船の紅提燈が花のやうに河心を彩る、此の日の觀客はまた數萬の人出、舊龍山レコード破りの群衆であつた、來賓は本社招待席の

▽**天幕の下に** 青い電燈やブランチヤードランプの下に奏樂を聞くもの、河畔の材木筏に腰かけるもの、それに八景園をはじめ河畔の家々、屋根も物干臺も鈴なりの觀客に埋めた、かくて賑やかな華やかな流燈、篝火、打ち揚煙火の了つたのは午後十時四十分、それからはまた一しきり屋形船の歡聲が黑い漢江の河面に流れた



煙花と流燈

▲警戒取締周到 何等の故障無し

此の日龍山憲兵分隊では元町四丁目出張所を本部とし矢野分隊長は部下憲兵全部を率て同所に出張し全員を四個班に組織し各班長を下士としてそれ／＼區域を分擔された、電車の往復や交通

▽**雜沓を取締** るもの、江中の遊船や流火を監視するもの、其他江岸一帶の警戒護備に任ずるもの等編成され矢野分隊長から群衆に對し『便利と親切』に各受持區域に就くやう訓示されて其々手配された、何しろ數萬の群衆とて有驚に廣漠な江岸も午後七八時頃から押合ひ揉み合の姿であつたが終了する迄別に何等の故障もなかつたのは

▽**當局の努力** もなか／＼容易のことではなかつた、尙夥しい遊船の方に對しては警務部の藤田警部が警備船燕號で他に四隻の憲兵乘込んだ舟と共に盛んに活動して警護に努めた、一方江岸や通路の沿線は雜沓が激しく殊に萬一の出火を慮つて新蒼龍山の消防組員も出場して應援に努めてゐた、其他一部の憲兵では

▽**家人不在中** の夜警として巡邏してゐた、斯うして萬遺憾なき警備と相俟つて本府の各係員も觀客に對し計策通りに豫定の大會も進捗して午後十時過ぎ頃大要を終了したが別に何等の事變も發生せず有繋の大群衆も順次に雪崩を打つて潮のやうに引き返したのであつた

◎スミス氏の光榮 王世子殿下御覽

鳥人スミス氏は二十三日午後第二回目飛行を行ふにつき李王世子殿下には午後三時五十五分自動車にて御來場スミス氏は殿下に飛行機の說明を爲したる後四時十三分飛行を開始し例の妙技を盡して直下王世子殿下の前にて双手を把手より放して敬禮を爲し四時三十分無事着陸し夫よりスミス氏は王世子殿下の前に進みて握手の光榮と金百圓を賜りたり（大阪特電）

◎汽船佛國政府に抑留さる

神戶市乾新上榮町所有汽船第三乾坤丸（三、七七八噸）及び兵庫成瀨正行所有汽船神通丸（四、一七〇噸）の二隻は佛國に抑留せられたるが其の理由判明せず（大阪特電）

◎斷水する迄 使用水量激增の影響

京畿道水道係に就き京城水道本月一日より去る十八日斷水の已むを得ざるに至る迄の送水量に對する配水量の增大及び配水池に於ける水位漸減の經過を聞くに左の如し

水量單位（立方尺） 水位單位（尺）

	送水量	配水量	最低水位
一日	四二六、〇〇〇	四五三、二〇〇	一三、三
二日	四三七、四〇〇	四二一、六〇〇	一三、七
三日	四三二、五〇〇	四五一、四〇〇	一二、九
四日	四三二、二〇〇	四二八、五〇〇	一三、七
五日	四三七、九〇〇	四六六、二〇〇	一一、三
六日	四四〇、七〇〇	四六九、〇〇〇	九、九
七日	四四六、四〇〇	四六二、三〇〇	八、九
八日	四四六、五〇〇	四六五、五〇〇	七、七
九日	四四六、五〇〇	四六三、九〇〇	六、六
一〇日	四四六、二〇〇	四四三、一〇〇	六、九
一一日	四四八、八〇〇	四五二、〇七〇	六、五
一二日	四四六、〇〇〇	三九七、一〇〇	九、九
一三日	四四八、六〇〇	四三九、二〇〇	九、九
一四日	四四九、二〇〇	四四一、三〇〇	一〇、五
一五日	四四七、六〇〇	四九一、七〇〇	八、二
一六日	四五九、八〇〇	五二九、一〇〇	三、九

以上の如くにして送水量は漸次增大して最大能力に接近し去る十六日は實に四十五萬九千八百立方尺の送水量を示し

▲**能力の極度** を示せるものにして危險の送水と謂はざるべからず之に對し一般府民の使用水量は五十二萬九千百三立方尺を算し配水池の水位一躍して十六日午後十時には最低三尺九寸を殘すに過ぎず卽ち送水量以前約七萬立方尺の配水を爲すを得しは全く配水池の豫備水ありし結果にして由來京城水道は配水池の水位に換算し水源地より約一時間一尺二寸の道水を爲しつゝあるが昨今使用水量

▲**激增の結果** は常に道水量一尺二寸以外配水池の水に喰ひ込み漸次配水池の水位減退を見るに至り遂に斷水の已む無き結果を生ずるに至るものなりき

◎大田の大相撲 初日の勝負

大田に於ける東京大相撲は非常の人氣にて滿員の盛況を呈したるが初日（二十三日）の勝負左の如し（大田特電）

勝	負	勝	負
四國洋	若嵐	若島	遠州洋
宝戶	國見崎	倉根松	筑後川
友渡	瀧ヶ崎	山嵐	太刀嵐
〈中入後〉			
荒玉	友渡	國見崎	矢筈山
紅葉川	清瀨川	敷島	若島
伊勢濱	黑瀨川	太刀山	土州山

◎鐵道庭球選手遠征

鐵道庭球選手は二十四日大田に遠征を試む可しと

◇ランチウの飼ひ方◇

江原鉾樋氏談

◇江原氏の二階には金魚の油鉢がかゝつてゐる。一番上のがリウキンで次がリウキンシカシラ、ランチウ、デメキンさいふのである。他に和金から云へばワキン、オランダシシカシラ、シウキンのたぐゐがある。◇それに何時か江原氏の愛玩した逸品中、東京の鑑賞會に出品して入選したものは、床の間の掛軸となつてゐたが、今は見ゐなかつた◇それから泉水の造り方は先づ板鉢もよし、三和土もよし、大きさは疊一疊敷に三歲もの四五尾、二歲もの十五六乃至二十の割で好いが、形は必ず方形に造らぬと金魚の形が崩れて了ふ。池の深さは內地では五六寸だが、朝鮮では日射が强いから八寸の深さに六寸の水でよからう。それに池の水は、金魚のからだから出る油で汚れるから、時々變へてやらればならぬ。◇五月は月に三回、六月は一週間に一回、七月は雨あれば不用なれど、お天氣なれば之れも一週一回、八月には五日目に一度、九月には月に三回、十月は二回、十一月には地下にかこふ。◇此の冬かこひは、最も困難な仕事の一つであるが、先づ大きな瓶に入れて、これを地下三尺ばかりのところに埋め上に硝子板を置いて日光をあてゝ、決して凍結らぬやうに注意するのである。或は後、井戶にても差支ない。◇また、井戶から汲み水を笕にとつて、凍結らぬやう流れなかへるもよい。但し瓶を溫室に入れてかこふのは、金魚の形が崩れて、面白くない。◇瓶からさり出す時期は京城の三月二十三四日ころ、四月に入つて泉水にうつすのである。尤もその前泉水の水は汲み込みおいて温めておくがよい。すぐ水道の水を注げば病氣に罹る憂ひがある。夏は水の上に簾を敷くがよい。（つゞく）

◎榊戰死者敍勳

地中海にて名譽の戰死を遂げたる我驅逐艦榊の乘組下士卒五十餘名に對し

◎木下津末兩氏脫會

憲政會代議士木下謙次郎及び津末良介の兩氏は二十三日同黨を脫退し同

[illegible]中隊演習を檢閲し參謀長は平野屋へ、旅團長は銀杏屋に投宿したるが一行は廿四日出發の豫定なり（全州特電）

登錄商標

安住かとり線香

天下一品 年々益々好評

內外各博覽會金牌受領

痛快！ 眞に痛快！

是れぞ本品の卓効に驚ける愛用者の叫び

例年の通り 景品券附 拾函買へば 壹函無代進呈

大阪北區曾根崎町 安住大藥房

電話長堀二九一番 振替大阪二六四〇

到る處の藥店及び荒物店にて販賣す

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

書籍滿用品紬絹紙類〇〇 各種萬年筆販賣及修繕〇〇

京城永樂町二丁目 電一七四〇 振京一〇八 堀崎商店

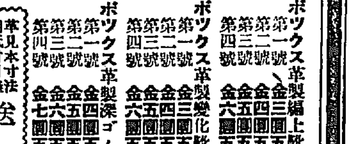
世界的大魔術師松旭齊天一

廿二日（初日） 廿三日 大入御禮

廿二日（初日）開演仕り候處多大の御同情を以て第一日より溢るゝばかりの盛況を呈し候

後五日間限り 電話二六三七 黃金館

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴		ボックス革製變化靴		ボックス革製深ゴム靴	
第一號	金三圓五十錢	第一號	金三圓五十錢	第一號	金四圓五十錢
第二號	金四圓五十錢	第二號	金四圓五十錢	第二號	金五圓五十錢
第三號	金五圓五十錢	第三號	金五圓五十錢	第三號	金六圓五十錢
第四號	金六圓五十錢	第四號	金六圓五十錢	第四號	金七圓五十錢

革見本寸法用紙付目錄 送呈

以上の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適品なり

御注文の節は靴種類と足型の數文御通知あれば代金引換小包送料實費にて送附す

東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店

電話芝六九〇番・振替東京七壹壹參番

◎松井須磨子來る

中村吉藏作 喜劇 新歸朝者 一幕

中村吉藏作 悲劇 お葉 三幕

舊劇所作事 三ッ面子守（玉兎 切落し） 一幕

來る二十五日一日限り午後六時開演

仁川歌舞伎座

第三千五百十號　（明治四十年九月八日第三種郵便物認可）　京城日報　（日曜日）　大正六年六月二十四日

花筐（はながたみ）

松田竹の島人作

（三五）

誠信は、遂に暇を出すことを、お豊へ言ひ渡した。

お豊は、突如に言ひ渡されたから驚いた。けれども太々しい根性を持つてゐたから、其驚きを顔色に出すやうなことはなかつた。そして恰もお島が考慮へたやうなことを思つた。お島はそれを根に持つて、主人へ何にか告げ口を爲た結果、恁うした運命に爲つたのだと、自分の心懸の惡いことは其方退けにして、自分を庇護してくれたお島を恨んだ。

お豊は、それでも思ひ切りがよく暇を出された以上、這麼家に一と時も居るものか、自分の家が生活に困つてゐても、外に往くところがあるからと、何か自信があるかして、其日の中に、所有品を取纏めて、市野方を出た。

出る時には、抱へ車夫の留吉にも、又他の女中にも、夫々別れを告げたが、お島には根みがあるからと、挨拶か顔色を變へて。『隨分御世話樣にも爲りましたが、意地めもされましたね。何れ御禮は致しますよ。』と底氣味の惡いことを言つた。

お豊は、一臺の人力車に荷物を乗せ、他の一臺に自身が乗つて、市野方を出たが、何故か自分の家へは往かず、小石川武島町の田淵勉方へ、轅棒を著けさせた。

田淵勉は、書生時代に、市野誠信と共に、石島泰民の私塾に居たし、今は日本鑛産株式會社の營業課長ではあるしするから、能く誠信方へ出入した。從つてお豊とは知合ひであつたが、一方は苟くも大會社の課長、一方は身分の下つた小間使であつたから、縱令知合であつたに爲ろ、然う深い關係はなさゝうなものであるが、如何なる理由の下に、お豊が田淵方へ往つたか、これは疑問であつたのである。

丁度日曜であつたから、田淵勉は宅に居た。お豊は遠慮もなく、荷物を玄關の次の間へ置くと、書齋へ通つて田淵へ面會した。

書齋は六疊敷で、三尺の床に接して、金文字の光る書籍が、整然と書棚に並べてあり、庭に向つた丸窓の下には、紫檀の机が据ゑてあつた。

綺麗な友禪の褥の上に胡座をかいてゐる田淵は、お豊が荷物まで持ち込んで來たのを不審がつて、其理由を訊くと、お豊は死も馴々しく、市野から暇を出されたことを告げ、そして語を續けた。

『突如に暇を出すと言はれましたから、喫驚致しましたが、妾には田淵さんといふ後援者があるもんですから、些とも困つた顔もせずに、直ぐと大手を振つて出て來たのでございます。ね田淵さん、市野さんばかりに太陽は照りませんし、何處だつてお太陽樣と御米の御飯は付いて廻つてますからねえ』

田淵は、お豊が暇を出されたと聞いて、何故か不安の色が、其顔に浮んで來た。

『然う突如に暇を出されたのは、お前が京子さんに、市野が酒色に耽溺するといふことを、種々造つて言つたのが露はれたからぢやなからうか、若し然うだと大いに困るがねえ』

『田淵さんにも似合はない、膽玉の小いさいことを仰しやるのねえ』と婉も嘲るかの如く言うて、『彼のことが露はれたと爲ると、貴方は什麼なさるんです?』

『御前に氣の毒だからさ』

『縱令彼のことが露はれたに爲ましても、妾が種々造りごとを搖て、市野の旦那のことを奥樣に告口したといふだけで、別に貴方の御頼みを受けたからといふことが分らなけりや構はないぢやありませんか』

『そりや然うだけれど、全くお前に氣の毒だからねえ』

浪花の興行界

道頓堀浪花座は久し振の我蛮を中心に多見之助右團治等に東京の松蔦蓮女等を加へ徳田秋聲君の『誘惑』を岡本綺堂君の『新朝顔日記』近松の『曾我扇八景』を改作した机撲等の趣を大切として客をよびおれり未だ見ず辨天座は老優三五郎の一座、中座は曾我の家五郎の一座の長興行にて尚落語種なく改作してお茶をにごしつゝく防力も又恐ろしきものなり角座は鐶子事件と澤田中房の死を取込んだ白露庵の『空吹く風』を孤舟君が脚色し小織謙井英次井等の成美團一座が演じ居れり大阪くらゐ觀劇眼の淺薄な處はあらず殊に際物の流行する處なり（大阪支局）

第一同俳句大會（一）

六月十七日、快晴、龍頭并月波亭にて大會を催す、此日京城曲水吟社の渡邊水巴先生、土方花陂氏、京城日報の松尾目池氏から課題で祝句祝詞を寄せられたから、茲にこれを掲げて謝意を表すると同時に前書に代へることとする

今日の劇場硯に涌く清水哉　水巴

背竹に灯して詣る百俳家　花陂

此會合は正しく朝鮮の俳壇に一大興國を興ふるに足るものと信ずる　日池

（以上曲水吟社）

○午前席題『夏の月』、作者二十七名、選者二十八名、互選結果、踏青子（十五點）小琴、さいかい（各十點）浩一郎（九點）草城、草綠（八點）江畔（七點）紅米、昌山、田打夫、山民、耕伯（各六點）雪峰、背丘（各五點）以下略

六點

夏の川唄ひつゝ踏む灌水車　さいかい

五點

夏の月樹にある兒　草綠

夜水引く麓黑々と夏の月　踏青子

夏の月水母溶けゐる磯の砂　小琴

四點

厩暗く角する牛や夏の月　踏青子

戸を稀に寢て居る村や夏の月　同

養蠶の棵に涸す夏の月　昌山

蜘蛛の圍に殘る雨滴や夏の月　江畔

戸の外の水盥す音や夏の月　さいかい

地熱吸ふ樹影深しや夏の月　浩一郎

三點

松間出で涼しき月を濱に來し　田打夫

夏月や樹下人去つて楊白し　同

足に吹く砂風白し夏の月　草綠

木影踏む砂ざくざくと夏の月　浩一郎

夏の月田水渦巻く土龍穴　小琴

夏の月潮寄せ薬の飛ぶ砂上　山米

夏の月望樓に嚮の汐平ら　鈴民

來し客に欄又外す夏の月　春聲

麥搗きの唄に歩むや夏の月　韭城

夏月や腹痛むとて門にある　耕伯

其他に左の句あり

讓位して淡き悲哀や夏の月　北墾

夏月や亭高く江面指顧の中　笛川

子の寢入り居り夏の月　寄潭

新刊紹介

▲奉天商業會議所月報（六月號）日支貿易の危期、奉天輸入雜貨與、滿洲通貨一班、商事に關する判例、關東州及滿洲に於ける[illegible]

▲朝鮮農會報（六月號）[illegible]

▲朝鮮教報（六月號）（七錢京城元町二ノ七三木緣等内其社）

▲婦女界（一家經濟號）[illegible]

▲報德（六月號）[illegible]

▲日本印刷界（六月號）[illegible]

▲經世（六月號）[illegible]

▲地方改良（六月號）[illegible]

▲極東時報（六月十五日號）（十八錢東京本郷區）

▲英語の日本（六月十五日號）（十二錢東京神田表神保町三建文館）

▲安東商業會議所月報（三月號）非賣品

▲琵琶新聞（六月號）（十錢東京神田表神町三其社）

▲良民（六月號）（五錢東京麴町區平河町五ノ三六其社）

▲皮革世界（六月號）（十錢東京淺草區吉野町八三其社）

▲拓殖新報（六月號）（二十五錢東京日本橋北紺屋町四其社）

▲九惠（五月號）非賣品東京市養育院

讀者の聲

▲本月三日大正俱樂部の聯合撞球大會でキューを間違へてお歸りになつた方は俱樂部までお知らせを願ひます（俱樂部員）▲斯ふ暑くなつたら毎朝のこやし汲を最ふ少し早くして下さい（朝起生）▲小生の處へは毎夜九時に到著する郵便物が翌日の朝配達せらるゝのも是れが内地新聞であるから成べく其の夜配達が願ひたい今迄は毎夜來て居たが何時の間からか翌朝になつたのは困る（和樂園生）▲當局は斷水は府民の水の濫用に基くが如く唱ふるも水道の給水力を増加せずして徒に水道栓の増加を企てたるの不明の致す所なれば斷水の責任は主として當局にありて府民其の責に任ずべきものにあらず然るに當局は斷水に苦しむ府民に對し其責を嫁せんとするは不都合だ（一府民）

商況

大阪株式特電

[illegible]

下關期米特電

△當限寄附二十一圓七十九錢△中限寄附二十二圓五十四錢△先限寄附二十三圓四十一錢

▲二十三日後場（保合仲間む）△兵庫後二十二圓八十九錢東京二十三圓十五錢大阪前止二十三圓四十四錢後寄四十一錢と高くなりたるも[illegible]

▲現物界

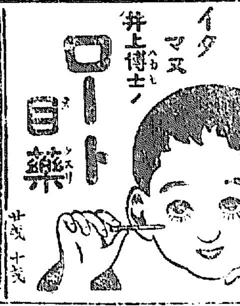
海州大豆九圓九十錢等にて出來たるのみ[illegible]

てんかん　癲癇の方切手三錢送れ永年の病いも自宅でなをす最善の良飘を政ゆ　名古屋市中區南小川町　救生館

月やく　月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身体に害なく通經する良法速に御知らせ致します　東京本郷弓町二ノ三　晩田けい子

りん病　淋病を治す急性は勿論慢性の内服藥尿道に對し漸次に効力を現す藥液　大阪市南區櫻川四丁目　藥劑士　淺田藥局　振替大阪三壹二四九番

アナタの胃病には　強胃消化錠　八木田醫學博士處方　マーゲンシ　島田藥學博士鑑査　大阪東區上本町五丁目　田畑保順堂



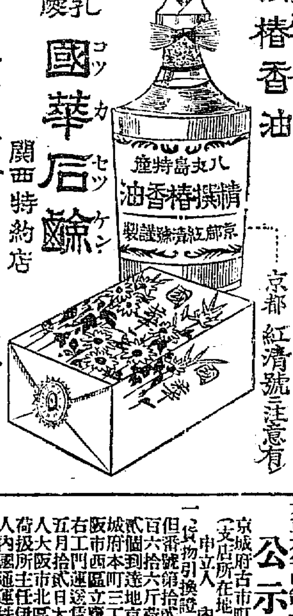
醬油味噌界の覇王　キッコーウリー醬油ほまれ味噌醸造元　（日本醬油株式會社）

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黄金町　電話四三〇番　五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

內科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　京城旭町一丁目　小林醫院　醫學士小林千壽　電話六九二番

大日本優等清酒　白鶴　品質純良　衛生無害

釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

八丈島特産　精撰椿香油
牛乳ニ優ル　國華石鹸　關西特約店
みやこ紅　白粉都ノ雪　本舖
京都　紅清號　注意有


醇良清酒　仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

寫眞　京城日報社寫眞製版部　最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成懇切を旨とし御註文に應じ（寫眞出張撮影・寫眞銅版・亞鉛版）

最新刊

書名	著者	定價
密教法具便覽	權田雷斧	二、五〇
釋迦牟尼傳	常盤大定	一、〇〇
米國教育概觀	山內佐太郎	一、八〇
法華魂	青木自風	一、二〇
出家とその弟子	倉田百三	一、〇〇
法難の行者日蓮上人	松川二郎	五〇
歐洲政史概觀	廣瀬哲士	一、〇〇
戰後の獨逸商業	外國時報社編	八〇
大正六年四月新聞年鑑	宏遠社	八、五〇
思索と體驗	西田幾多郎	一、〇〇
長塚節歌集	長塚節	一、三〇
捨兒	森田草平	六五
獨歩集	國木田獨歩	五五
散文詩	生田春月	五五
心	夏目漱石	一、〇〇
道草	同	一、〇〇
冒險奇談絶壁魔城	宮崎一雨	四五
歷史物語血戰記	川島艮一郎	八五
留學先手段の秘訣	服金準一	八〇
東語指南	文求堂編	八〇
受驗必携朝鮮公文解釋	安達大壽計	四〇

京城本町一丁目　電話六八〇・三八六　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

御會葬御禮　故扁子父　弓削幸太郎

公示催告

大正六年申第一一八三號

京城府古市町拾貳番地ノ壹（支店所在地）
申立人　內國通運株式會社

一、貨物引換證　壹通
但番號第拾武號運送品縮布重量百六拾六斤荷造ノ種類及個數武個府西本町到達京城南大門驛荷受人城武市門前三丁目京城南大門驛荷受人阪右工市運送店日大阪西北區梅田驛五月拾日立貨金參圓五拾錢大阪驛作成大人扱所主任伊藤富太郎發行ノ荷證券

右申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ付其所持人ハ大正七年壹月拾四日午前拾時迄ニ權利ヲ届出テ且證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出ヲ爲サヽルトキハ其ノ證券ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ

大正六年六月貳拾日
京城地方法院

購買

一、式紙參拾貳點
入札期限六月二十三日
詳細ハ本月二十三日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

臨時購買

一、紅松板材　各種
詳細ハ廿貳日以降ノ朝鮮官報ニアリ
臨時土地調査局